京城日報
十九日夕刊
發行所 合資會社京城日報社 京城太平通一丁目
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介

支那の形勢

▲十省李内閣に反對す

李經義氏を總理とする内閣組織に反對するもの十省に及べり(北京電報)

▲前清皇室復辟拒絶

前清皇室は馮國璋氏に宛て皇室優待條件を永遠に有効ならしむるは最も希望する所なりと雖も復辟の一事に至りては誓つて承認する能はずと申送れり(北京電報)

▲伍、譚兩氏の上海落

天津に滯在せる伍廷芳譚人鳳の兩氏は十七日朝海路上海に向け出發せり(北京特電)

○露國講和の意あり

但し獨逸の半官的報道

獨逸の半官的報道に依れば露國は無併合無賠償を規準として獨逸と單獨講和を爲すの意ある旨通知し來れりと(路透電報)

○瑞西露獨講和斡旋

瑞西政府は露獨兩國間に於ける單獨講和の爲め仲介の勞を執りつゝあるの事實明瞭なりと(倫敦電報)

○露國議會非講和決議

露國議會は次の決議を爲せり(露都電報)

單獨講和及び各戰線に於ける長期の不活動狀態は聯盟國に對す忌む可き一種の叛逆行爲なり露國の安全と自由とを支持せんと欲せば一刻も早く再び攻勢を執るの途に出でざる可からず

○遣露米國使節正式會見

米國特派使節ルート氏一行は十五日夕臨時政府各部長官列席の上正式の會見を爲せり(露都電報)

○拓殖局の規模

今回新設の拓殖局は小規模にして普通の局と異ならず這は田遞相の發案にして後藤内相は反對なりとの說あり(東京電報)

○議長公選決議

十八日夜政友會内の九州會及び明治會に於て衆議院議長の公選を決議せり此氣勢を以て進まば大岡育造氏の議長實現は到底望なきが如し(東京電報)

○宇佐美長官歸鮮

宇佐美内務部長官は十九日朝新羅丸にて著釜午前十時半發列車にて歸任の途に就けり(釜山特電)

○平塚檢査官歸東

檢査官平塚定二郎氏一行は十八日夜釜山出港の新羅丸にて歸東の途に就けり(釜山特電)

◉政務總監餐宴

山縣政務總監は入京中なる滿鐵副總裁國澤新兵衛氏を十八日午後七時朝鮮ホテルに招待晩餐會を開けり、當日は同氏隨行者久保要藏小日山直登兩氏並に大屋朝鐵長官三本、人見兩理事、横井、山田、稻垣三技師、和田安藤、加藤、鷲尾各參事並に荻田總督府總務局長遠藤秘書課長等列席せり

◉定例長官會議

十九日は定例長官會議日なるより山縣政務總監以下各部長官局長所屬官署の長等は午前九時より總督府第一會議室に參集重要政務に就き協議打合せありて正午散會したり

◉學校會計會同(第二日)

官立學校會計主任會同第二日は十九日午前九時より總督府第二會議室に開催前日の如く直に日程に入り午前は諮問午後は質議及び打合せありて四時閉會したり

◉朝鮮貿易 六月上半の分

▲貿易の狀況 六月上半の朝鮮貿易は輸移出品價二百三十五萬五千九百餘圓、輸移入品價三百六十五萬四千三百餘圓、合計六百一萬三百餘圓にして前年同期に比し輸移出に於て二十六萬六千六百餘圓、輸移入に於て百二十九萬八千八百餘圓の孰れも增進を示し、出入の權衡は前年同期に於ては二十六萬六千餘圓の入超に過ぎざりしもの、今次は遂に百二十九萬八千餘圓の入超を算するに至れり

▲本年累計額 而して一月以降累計額は輸移出三千二百四萬三千六百餘圓、輸移入四千八萬二千八百餘圓合計七千二百十一萬二千六百餘圓にして前年同期に比すれば輸移出に於て九百九十一萬二千九百餘圓、輸移入に於て一千百二十五萬六千二百餘圓の共に增加を見、貿易の權衡は當期八百三萬九千百餘圓の入超を告げたり

▲出入重要品 今本月上半並に一月以降累計に係る輸移出入重要品價を示せば左の如し

輸移出重要品(圓)

品名	六月上半	一月以降累計
米	六〇六,四九五	三,八二三,二三五
豆類	四三七,〇〇三	四,七四五,〇八五
魚類	九二,三二一	六六八,九六九
人蔘	一四七	三二八,三〇七
棉花	二六,七二四	一,八二一,九〇三
繭	一,五三二	八二,三九三
金鑛及汰鑛	八,九九五	三六五,七四三
鐵鑛	五〇,六八一	一〇八,五三四
重石鑛	九九,五三五	七六四,三〇六
黒鉛	六二,三八五	二七五,六四六
含金銀粗銅	一九二,四〇四	二,一二九,一四〇
牛皮	六七,三一三	八九三,九七七
皮革製品	一五	九六,八三三
煙草	二八,七七三	四一〇,三五二
生牛	八,〇五〇	三〇四,五五三
肥料	八八,四七五	七四,三二一

輸移入重要品(圓)

品名	本月上半	一月以降累計
米	一五〇,八四六	二六五,〇七〇
粟	一八六,二四二	八四八,九三九
小麥粉	三八,六〇三	四三三,二九七
食鹽	五六,六三二	四四四,六二〇
鹽魚	九,七六一	一四三,四九五
沙糖	七八,四七二	八五〇,三二四
清酒	二九,三三八	二七〇,〇一七
麥酒類	三七,三七八	三〇三,五五三
石油	五,七四三	一,三〇四,五〇六
繰綿類	一〇,九九五	一七,二四三
綿織糸	一〇〇,〇八四	二,二九〇,七五〇
生金巾類	一八〇,六六四	二,六六一,三三五
晒金巾類	八八,九七四	一,〇九三,九九九
天竺布	二九,三三一	二四一,九〇七
綿繻子類	一六一,四〇〇	一,二七五,六六七
日本木綿	三六四,四一五	一,八四六,八八四
支那麻布	三三,二七五	三五一,八四一
毛織物	一五,三五五	二九〇,〇〇六
絹織物	八〇,三二一	一,一五二,七〇一
紙	六七,一四五	三二九,九〇七
熟鐵	二五,八八一	一,八〇二,三〇九
鐵(筒及管)軌條及同附屬品	一〇,一三三	四一〇,二四七
鐵道機關車	四,四〇八	二三三,〇九〇
煙草	二九,二四三	二一三,八〇三
生皮及熟皮	一六,四三三	四五一,三三九
石炭	九九,六九八	一,一〇四,五一九
木材及板	九二,一〇八	五五六,四六五
セメント	七〇,六三七	四五七,五四六
叺縄及筵	三三,三三九	三一四,五五四
マッチ	二四,四四九	二一四,九九九

▲金銀出入高 尚ほ六月上半の金銀貨及び地金銀の出入高は輸移出金銀貨並に金銀地金計百六萬一千餘圓にして前年同期に比し廿二萬三千餘圓を增加し又た輸移入金銀貨及び金銀地金は計五萬二千四百餘圓にして前年同期に比し三萬七千餘圓を增加せり、而して一月以降累計額は輸移出金銀貨及び金銀地金計四百二十九萬餘圓、輸移入金銀貨及び金銀地金計二十四萬九千五百餘圓にして前年同季に比し輸移出に於て二百四十九萬八千餘圓を減じ輸移入に於て六萬四千餘圓を增せり

◉麥作豫想 大正六年度

大麥四百五十八萬一千餘石‖小麥百十萬九千餘石‖前年に比し大麥四分餘小麥一割餘の減收

大正六年の麥作は播種後の氣候適順なりしも十二月下旬に至り氣温急激に下降して著しく低温を示し越ねて一月に於ては近年稀有の酷寒來襲したる爲め各地共に寒害を被りたること甚しく又た例年に比し春季に於ける氣温の上昇遲く且つ四五月の降雨極めて尠かりしが故に其の生育著しく制限せられたり、今六月一日現在の作柄に徵するに其の收穫豫想高大麥四百五十八萬一千四百八十七石にして小麥百十萬九千二百二十七石にして前年實收高に比すれば大麥は二十一萬九千六百三十三石即ち四歩六厘、小麥は十三萬八千四百八石即ち一割一歩一厘の減收なり、左に大小麥收穫豫想高累年對照並地方別大小麥收穫豫想高を表示す可し

大小麥收穫高累年對照表

年次	大麥	小麥
大正元年	四,六九三,二四三石	一,〇九九,四六一石
大正二年	五,二三三,八〇五	一,一七〇,八六六
大正三年	四,九六三,五九五	一,二四三,四九八
大正四年	五,一八二,七〇〇	一,二〇〇,八七五
大正五年	四,八〇一,一二〇	一,二四七,六三五
大正六年豫想高	四,五八一,四八七	一,一〇九,二二七

地方別大小麥作豫想高

道別	大正六年豫想高 大麥	大正六年豫想高 小麥	大正五年實收高 大麥	大正五年實收高 小麥
	石	石	石	石
京畿道	四四〇,〇九八	二三五,六〇七	五三〇,二七四	二三六,五四三
忠清北道	二九〇,七〇八	二六六,二〇〇	四〇三,九九一	一七四,一五三
忠清南道	二四四,八八六	一四九,〇八七	三七七,四四七	一九九,一五八
全羅北道	三六六,五六五	一八六,二六四	三四八,八〇八	二四四,〇〇六
全羅南道	八五三,五六五	一八六,八六六	一,一〇四,二〇四	一七八,九七三
慶尚北道	八二三,四一三	一〇一,八八八	八六四,二〇四	一五五,一四五
慶尚南道	八六九,一五三	一四一,八八八	八五五,一〇六	一八九,七七八
黄海道	一七〇,〇〇四	七〇,三三三	八〇,三一五	二六六,一〇六
平安南道	一〇五,〇八八	一六六,一三三	一八六,一〇〇	一〇八,〇三一
平安北道	一〇〇,一八九	一〇一,四四五	一〇三,〇二一	一〇一,一〇七
江原道	一二三,〇〇五	八三,一二四	一七六,八六六	一〇四,〇八九
咸鏡南道	一五三,四〇〇	八〇,三三〇	一六三,四〇六	一〇一,九〇三
咸鏡北道	六二,八〇六	一五三,〇〇〇	一八四,一四〇	一五三,二五五
計	四,五八一,四八七	一,一〇九,二二七	四,八〇一,一二〇	一,二四七,六三五

◉軍司令官西行

駐剳軍司令官秋山好古大將は第二期檢閲視察並に地理實查のため松井高級參謀野津副官を隨へ二十三日午前九時二十分龍山驛出發二十九日夜歸著の豫定にて新義州平壤龍岩浦及び鎮南浦方面へ出張する由

◉田中次長來期

滿洲方面視察の爲め北行せる田中參謀次長は歸途二十八日京城著二十日まで滯在の豫定なる旨其の筋に通知ありたり

◉宇佐美長官歸任

政務其の他の要務を帶び過般東上せし宇佐美内務部長官は十九日午後九時南大門驛著歸任すべし

◉副總裁動靜

入京中の滿鐵副總裁國澤博士は十九日午前十時四十五分久保庶務課長小日山長春驛長と自動車に同乘しホテル出發鐵道局を訪問せしが大屋長官和田總務課長共に不在なるを以て直ちに副總裁を待ち受けてゐる先著の滿鐵社員二名も一行に加へ加藤經理課長を訪問副總裁及び久保課長は會談約十分の後別項の如く軍司令官邸師團長の訪問に向へるが小日山長春驛長及び他の滿鐵社員は加藤經理課長以下經理課員數名と共に大冊の帳簿及び書類を拔き切りに何事か打合せをなしたるが多分兩鐵道併合經理問題の細目協定ならん

▲兩將軍訪問 十九日午前十一時十分鐵道局を辭したる國澤滿鐵副總裁久保同庶務課長は直ちに自動車を軍司令官々邸に驅りしも出勤不在中のため轉じて立花第十九師團長を訪問十一時二十分軍司令部に到り折柄來合せしアルゼンチン公使田付七太氏と共に秋山司令官と約三十分に亙り會談し十一時五十分ホテルに引揚げたり

▲總督府訪問 國澤滿鐵副總裁久保小日山三氏は十九日午後一時總督府を訪問人見鮮鐵理事和田總務課長等と會商し併鐵問題に關する協議をなせり

◉田付公使用向

入京中の南米アルゼンチン公使田付七太氏は十九日午前十一時秋山軍司令官を官邸に訪問同日午後九時四十分南大門發列車にて北行する由なるが氏の帶べる特種使命は鮮滿兩鐵道併合後制度に大改正を加へらるゝと傳へらるゝ在滿帝國領事館に關する要件なりとの說あり

◉軍參謀長南下

駐剳軍參謀長白水淡少將は第二期檢閲視察のため小野大尉を隨へ二十日午前八時四十分龍山出發三十日夜歸著の豫定にて忠州全州大邱方面へ出張する由

◉スタール博士出發

京城滯在中なりし市俄古大學人類學教授スタール博士は六月十九日午前八時卅分南大門發列車にて内地に向へり

◉ハリス博士北行

入京中なりし前メソヂスト派朝鮮監督ハリス博士は十八日朝發北行せり

◉露貨對日貨

朝鮮鐵道著の場合に於ける日滿連絡貨物引換代金換算率は九日以後露貨百留に付日貨五十五圓二十六錢なりしが十九日より五十一圓二十二錢に改定さる

◉軍隊二期檢閲

第十九師團及び大邱歩兵第四十旅團の第二期末檢閲は左の日割を以て執行する事となりたり

▲歩兵第七十八聯隊(龍山) 六月廿二、二十三、二十四、二十五日とし第一日は練兵場に於て第二第三兩日は汝矣島附近に於て執行

▲歩兵第七十七聯隊(平壤) 六月二十八、廿九、三十日の三日間

▲歩兵第三十七旅團(羅南) 六月上旬より七月上旬まで

▲歩兵第七十九聯隊(大田) 六月下旬より開始し大田屯在部隊は七月八九兩日に執行

▲歩兵第八十聯隊(大邱) 六月下旬より開始し大邱屯在部隊は六月二十八九兩日に執行尚ほ第二期檢閲科目は通常中隊の制式戰闘兩教練及び步哨勤務行軍等也

◉江陵守備隊引揚

江原道江陵守備隊は從來同道平昌守備隊より分遣しありしも目下其の必要なきに至りたると一方教育上の顧慮を以て今回平昌守備隊に合一せしむる事となり同隊は去る十日全部平昌に歸還したり

◉平南の旱魃

平安南道本年の旱魃は二十年來見ざるところにして農民は如何にも憂慮に堪へずと云ひ居れるが平安南道勸業技手の語るところに依れば本月下旬まで差支へなく苗代の水は左程に涸渇し居らず殊に山間部は幸にして灌水宜しく此處一週間位は未だ大丈夫なり火田の方は降雨なき爲め生育遲々たるも兩三日中に降雨あれば生育宜しかるべく然し此上一週間も降雨なきときは實際農民は困憊すべし云々尚平南に於ける大正五年及び大正六年農繁期の雨量を比較すれば左の如し(平壤)

	大正五年	大正六年
四月中	七八、六	一六、八
五月中	八六、五	三二、二
六月中(一日より十日まで)	二八、七	一〇、三

(單位耗)

◉咸北收繭豫想高

咸北本年の春蠶掃立枚數は千五百四十枚同戸數千九百六十八戸にして前年に比し枚數に於て約四百戸數に於て約七十戸の增加を來せり收繭豫想高は三百八十四石にして昨年の實收高に比し約百石を增加すべき見込みあり尚ほ掃立は十五六日頃全部終了し又た桑の發育は例年に比し二三日遲きも桑葉の過不足を來す如き事なからんと(清津)

◉水原組合議員選擧

水原學校組合議員數は從來八名なりしも道般法規に基き道長官の指定に依り十名と決定去る十五日滿期總改選を擧行したるが候補者都合十六名に達し選擧は三四日前より激甚なる競爭を惹起したり斯て十五日の決戰日を迎へたるが場内の取締は頗る嚴重を極め有權者又眞面目に權利を行使したる爲め投票締切時刻たる午後五時に先立つこと二十分已に二百十二名の投票に達し開票の結果は中二票の無効ありしのみにて左の通り當選を見たり(水原)

▲一九票飯田幸成▲一八票森元二▲六票鏡保之助▲一七票阪手重三郎▲一六票香山弘▲一五票北澤小八郎▲一四票櫻井龜吉▲一一票中原俊勝▲一一票村木甚一

◉警務總長檢閲

古海警務總長は隨員十二名を伴ひ十七日午後七時官民多數の出迎を受け鳥致院より自動車にて來公常盤旅館に入りたるが十八日憲兵隊本部及び警務部十九日警察署の檢閲を行ひ二十日扶餘憲兵分隊の檢閲を行ふべく同地へ向け出發の筈(公州)

◉咸北の生産額

大正五年中咸北各種生産總額は一千二十萬圓にして農産の六百二十萬圓位を占め其の内粟最も多く大豆、大麥之に亞ぐ工産の百二十八萬圓第二に位せるも主なる工業は燒酎、麻布等に過ぎず第三位は畜産の百九萬圓にして畜牛馬は其重なるもの林業は七十一萬圓に達し雜木薪及用材之が主たり水産は七十餘萬圓に增進して明太三分の一を占め鰮之に亞ぐ鑛産は未だ微々として振はざるも産額十六萬圓に上り黑鉛を主とす窯業は産額漸く二萬圓にして前途尚ほ遼遠なるが如し(清津)

新義州

▲滿鮮運送十周年 滿鮮運送會社は本年三月を以て創立滿十周年に相當せるを以て去る十六日午後八時より新義州及び京義線各地の官民數十名を第二線新館に招待し自祝の宴を催したるが尚ほ十七日は引續き安東縣スミレに於て同方面官民多數を招待したり

▲鴨綠江畔に燐寸分工場 仁川燐寸會社及び北海道今村順次郎氏の提携は當地多田榮吉氏の仲介によりて愈々成立し其結果として今村氏は入つて同社の專務取締役に任じ製造經營一切の重任に膺ることゝなり同氏の考案に依て輸入品を模造改良せる優良なる軸木製造器械數臺は不日著新の筈にて同社の新義州分工場も同時に其建築に著手することゝなるべし因に今村氏は日本燐寸界の巨人として其名内外に喧傳せられ已に燐寸軸木輸出上の勳功を錄せられ其筋より藍綬章を授與せられたる人にて特に日本に於ける燐寸原料材白楊樹の缺乏を憂へサースン類の木材より白楊材以上の優良なる軸木を製出することを考案せるが如きは恰も鴨綠江上流に於ける白楊樹の材積意外に豐富ならざるに因つて一墜蹶を來たさんとせる朝鮮燐寸工業界に屬し一大光明を與へたるものにして單に一燐寸會社の幸と言ふに止らざるべきなり

清州

▲長官著任期 趙新任忠北道長官は二十三日著任のこととなりたるに依り忠北道庶務主任會田書記は十七日清州發出迎のため平壤に向ひたり

▲前院長出發期 前清州慈惠醫院長石川國幹氏は令息病氣のため歸省延期中の處二十二日清州出發郷里に向ふべしと

▲松蛅蟖驅除 忠淸北道にては本年亦々管内各郡に於て松蛅蟖發生したるより目下各地方民を督勵して之が驅除を行ひつゝあり兩三年前は南部各郡に發生最も甚だしかりしが今年は北部の槐山忠州の方面被害最も甚だしき狀況にて今後鳥嶺の深林一帶に蔓延するを見んか由々敷大事なりと憂へられつゝあり

▲喜雨臻る 去る十二日降雨ありしも雨量尚不足のため農民は日々降雨を待ちつゝありし處十八日夕刻より降雨ありたために農民の喜び一方ならず

大田

▲繭出廻多し 大田郡内に於ける繭の共同販賣は引續き大田産業傳習所に於て施行中なるが漸く最盛期に入りたるを以て出廻りも漸く多し是迄の最高價は一斗金六圓八十錢なりしと

▲醫師會長選任 大田醫師會長は井手武兵衛氏辭任以來缺員の儘なりしが過日醫師會を開き後任選擧の結果原孝一氏當選就任せり

▲大田神社許可 兼ねて許可申請中なりし大田神社は六月十一日附にて許可の指令ありたり

▲大田皮革會社許可 大正五年九月二十五日附を以て許可申請したる大田皮革株式會社設立の件は六月十五日附其の筋の許可ありたり因みに同會社は資本金五萬圓なりと

▲大田橋改修計畫 大田春日町大田橋は交通頻繁の爲め破損の箇所あり危險に付早晩改修工事を要すべきに付大田郡廳より道廳に對し土木技術員派遣方の申請をなしたり

群山

▲檢査法改正 山本群山米穀檢査所長は六月二十一日より三日間京城に開催さるゝ全道米穀檢査所長會議に出席すべく檢査法改正に關する上廳當局の諮問事項に對する答申及び檢査法改正の必要と認むる實驗より得たる參考資料等に就き過般來熱心に研究調査中なりしが既に調査も完了したるを以て道廳に出頭打合を經て廿日頃上京の豫定なりと

▲商議委員會 群山商業會議所にては十八日午後四時より同事務所に於て西濱埋築工事委員會を開き移つて會議所新築委員會に移り凝議する處ありたり

▲内地輸送米 五月中群山港より内地に向け輸移出せる玄白米は玄米八千八百零五石精白米四千四百六十九石なりしと

▲外米移入 五月中群山に移入せる外米の總額は五百四十石にして價額六千四百六十六圓、滿洲粟は二千三百六十七石價額二萬零六百三十九圓の粟移入ありたりと

▲港灣委員會 群山港灣調査會にては十八日午後群山商業會議所に役員會を開き贊助會員の推薦を行ひ其他二三の事項に付凝議する處ありたり

人事消息

▲保科正昭子(技師) 十六日附を以て江原道金化、平康、鐵原各郡に出張を命ぜらる

▲疋田玄龜氏(土木技師) 内地に出張中の處十九日朝歸任

▲岩井長三郎氏(土木技師) 十六日附仁川へ

▲古城梅溪氏(醫師) 内地へ旅行中の處十七日夜歸京

▲跡見泰氏(神戸貿易商) 十九日元山より入京

▲菊地謙讓氏(大阪毎日顧問) 同日元山より入京山本旅館へ

▲阿部充家氏(總督府事務官) 十九日元山へ二十日午後歸京

▲田尻生五氏(新任咸北事務官) 廿日朝出發任地へ向つて赴任の途に就く

兩陛下に御暇乞ひ
李王參內=豐明殿午餐會

李王殿下には御暇乞の爲め十九日午前十一時半陸軍大將の通常禮服にて宮內省より差廻しの馬車に召され尹贊侍陪乘閔李王職長官國分次官儀仗兵一箇小隊の警備の下に宮城二重橋より參內御車寄にて將軍木村式部官の御誘導にて千種の間に御休憩隨員は西溜の間に休憩中

♣天皇陛下には陸軍樣式通常禮服にて波多野宮相、內山侍從武官長、隱司侍從長等を從へ鳳凰の間に出御あらせらるゝや李王殿下には木村式部官の御誘導にて大前に進ませられ天皇陛下に御對面武田翻譯官の御通譯にて親しく御滯在中の御優遇を感謝あり且つ御暇乞を言上され 陛下よりも種々の御沙汰あり引續き陛下には隨員に拜謁仰せ付られ終て殿下には大森皇后宮大夫の御誘導にて桐の間に進み大森大夫千種典侍參列の上

♣皇后陛下に御對顏同じく御優遇並に御暇乞を言上遊ばされ次で隨員一同も拜謁を給はりたり斯くて 兩陛下には正午李王殿下の爲めに梨本宮守正王同妃朝香宮鳩彥王同妃允子內親王及び王世子の各殿下を宮中豐明殿に御召しの上午餐會を催させ給ひ 兩陛下には正面の玉座御座に著御各殿下又御席に著かせらるゝや同時に勅任官たる隨員及び松方內大臣、寺內首相、波多野宮相以下宮內大臣に御陪食仰せ付られ此の間式部職樂部には歐洲樂を奏し御感興を添へ奉りたるが宴を終りて

♣兩陛下には李王殿下各皇族殿下並に諸官を從へ千種の間に出御、珈琲、水菓子を召されつゝ李王殿下と盡きぬ種々の御物語あり 兩陛下より李王妃、李太王殿下へ御傳言の御沙汰あり殿下も亦貴重なる御土產品の御禮を言上せられ終て 兩陛下と最後の御訣別あり隨員を伴はせ御機嫌麗はしく離宮に御歸還相成りたり(東京特電)

呆氣無い雨
最う降らぬか
買人氣を煽つた仁川市場の前場

降る!降る!!と歎んだ十八日夜の雨も例に依つて呆氣無く止んで京城は三ミリ仁川は四ミリと言ふ極めて貧弱な降水量を示したに過ぎぬ道路は挨押へ畑地は

▲地表下一寸位 ゐの濕ひであるから農作物には大した影響も無く、單に生氣を恢復した位ゐである一體今度の雨は揚子江口に現はれた低氣壓が北東へ進行したのであるから朝鮮南岸には相當の降雨があつたが中部以北は微弱な者で降雨量も釜山二十九ミリ大邱二十二ミリ木浦十四ミリで十七日に引續き相當に降雨があつたが中部以北は京仁地方の三四ミリ都岩浦の一ミリ中江鎭の七ミリ天山一ミリと云ふ少量で

▲依然旱魃狀態 を持續して居ると言つても宜い位である恁んな具合で十八日後場に於て雨模樣を豫期した仁川の定期市場は一旦十八圓三十四錢に瓦落したのが十八日に至つて豫想した程の降雨も無く反つて天氣が定まつたと言ふ見込が買人氣を煽つて前場十八圓六十錢と言ふ反撥的の高値に寄つけ遂に七十九錢で散會した今後は晴曇定まりなき天候と共に晴は

▲買人氣を刺戟 し降れば買人氣を煽つて、市場も混亂狀態を現出するであらう、觀測所に就いて今後の天氣豫報を聞くに今度通過した低氣壓は目下日本海方面にあつて漸次東方に向つて進行して居るから十九日は快晴であるが更に揚子江方面に低氣壓が現はれる見込みであるから此の天候は永續しないであらうと云々(仁川)

武藝師範の爲め海外へ

神戸の擊劍家園部正俊氏の息直之進(三一)娘あさの(二〇)門下生日野義雄は日本武士道の精髓を發揮する爲め二十三日鹿島丸にてリヴァプールに向ひ武藝の師範を爲すと(大阪特電)

毒草を喰つて一家悉く發狂

山口縣玖珂郡神代村森田宗一の一家五名はイガナゴの葉を山牛蒡と間違へ食し皆發狂せり(大阪特電)

放火して殺害
死刑宣告を受けて控訴

慶北尙州郡西町里生れの李福俊(八八)は義賊と稱し十數名の部下を率ゐ銃器棍棒等を携へて各地を横行し良民を苦しめ居たるが去る明治四十年中金泉郡內に立入り李某の墳墓發掘を名として金四千圓を强請せんとして果さず部下が其筋の手に逮捕されしは金泉の李德祚、李致九の兩名が其筋に密告せし爲めなりと稱して右兩人の宅に火を放ち又同郡求所面金梨谷、金寬、金朴壺の三名は自分等の行動に妨害を加へ又屢々其筋に密告せるものなりとて該三名を銃殺したる事發覺して逮捕され大邱地方法院にて死刑の宣告されしが彼は之を不服として大邱覆審法院に控訴し過般公判を開廷中來る十八日判決言渡しある筈

◉國澤滿鐵副總裁戲墨

十七日の夜韓相龍氏の自邸で國澤滿鐵副總裁一行を招待した際席上副總裁は主人の需めに應じて畫帖

に向つて左腕で太筆をにぎると見ねしがそこに忽ち一輛の鮮滿直通列車が現出された一座は『流石にお職掌柄である……』と感嘆措く所を知らなかつた——繪はこれである

◉夜間斷水中に出火の場合は何うして消防するか
▽腕用喞筒隊四組編成せらる△

京城水道の斷水は降雨のあるまでは繼續さるゝ模樣である此頃の乾燥と斷水とは消防上の大問題で此際如何なる手段を以て消防するかといふに水道は

◆火災の報知 を得て送水を始めるのであるが先づ場所にも依るが大抵三四十分位ゐはかゝる殊に高地に至ては一時間も要すると云ふことで尙且其送水途中で共用、專用等の水道栓が拔き放してあれば其れ丈け

◆通水力を妨 げられ益々遲るゝ譯であるから消防に取りては大困難である、其れで此際斷水時間中は常備消防隊は在來の出動隊の外に非番消防手を召集し腕用喞筒隊四組を編成して之を南大門、黃金町、南山町、鍾路の四消防所に配置し

◆井水下水等 の水を利用して消防に從事する手筈である之は十七日から實行して居る其の他水管自動車、水管馬車、器械馬車等に其々數個宛の輕便消火器を備へて居る此際市民は特に警火に努むると共に左の注意を願ひたい(京畿道警務部吉田消防官談)

▲出火の場合は出來得る丈け迅速に消防隊へ電話報告をすること電話番號は左の通り(但し公衆電話より警備電話を呼び出すには警備と呼ぶ)

▲警備電話番外一番大門消防隊(公衆四百五十八番)▲警二番金町消防隊(公衆十二番)▲警三番鍾路消防隊▲警四番黃金町消防隊▲警五番龍山消防隊▲警六番光化門前消防隊▲警七番本町消防隊

▲水道共用栓、專用栓等の栓を堅く締め置くこと

▲井戶、其の他の水利あらば有事の際に使用し得らるゝ如く其の周圍の障害物を除き置くこと

◉鹿兒島師範生徒同盟休校

十八日鹿兒島師範學校生徒全部教員排斥の目的にて同盟休校を爲し目下鎭撫中(大阪特電)

◉藝術座大入札止
今夜は『飯』に『復活』

連日好評を博しつゝある壽座に於ける松井須磨子一行の藝術座劇の六日目たる十八日夜は楠山正雄譯の『想ひ出』エヂポス王等ありしため著しく人氣を呼びたるが開場後八時半頃には既に大入滿員の盛況を呈して九時前札止めをなすに至れり然して今十九日の最終日には此の一座の最も得意とする『飯』及び『復活』を出したる事とて定めし大入を博するならん

◆戰爭か平和か
大正館のシビリゼーション

大正館にては來る二十日より向ふ五日間日活が最近輸入せる世界的大寫眞『シビリゼーション』十卷を公演するに就き十八日午後一時よりその試驗を行ひ京城新聞通信記者二十餘名を招待してその眞價を問ひたるが同寫眞はウキルソン大統領援助の下にトーマスエイチ、イレス會社が撮影費二百萬圓と二箇年の日子を費し四萬人の役者馬匹六千頭、戰鬪艦水雷驅逐艦二隻、巡洋艦一隻、潜航艇三隻を使用して撮影せるものにしてその內容は米國が獨逸の軍國主義の破壞に努力する大なる一の手段としてあらゆる力を傾けて作り上げたものにして帝劇、朝日座等にて大好評を博したるものなりといふ

◉御代理葬儀遙拜式 西本願寺別院(若草町)にては十九日故近松督長代理の葬儀執行せらるゝに付き同日午前八時同寺に於て遙拜式を行ふ

愛讀者優待

本券御持參の方に對し一名限廾錢の木戶を廾錢に割引致候

東京相撲 木戶割引券

京城日報社

大邱興行中

呪はれたる女の運命(五)
恐怖と懷しさ

お梅は惡夢に襲はれたやうな心持で家に歸ると直ぐ電話で平壤日日新聞社に尋ねて見た矢張り有松は其處に編輯長を爲て居ると判つた。

お梅は一種の恐怖と懷しさとを抱いて有松の尋ねて來るのを待つて居つた、それから四五日してから果して男は尋ねて來た、髮を綺麗に眞中から分けて血色は惡いが長面の俳優式の處がお梅の堪らなくなつかしんで居る處だ

『マア好く來て呉れたわねエ』とお梅は今の先まで抱いて居つた有松に對する恐怖や疑惑は何處へか消ねて懷しそうに男の傍に身を投げかけた『あんまり好くもなからう。』しかし斯んな處で逢ふとは思はなかつたが、どうして來たね』と男はお梅が平壤に來たまでの經緯を一通り聞いた上自分も千葉の東洋新聞で失脚して遂々此の三月平壤へ遣つて來たのだと話して

『何うだお前の事だから、此方に來てもう蒔爪をそこゝへ引掛けて居るだらう』と男は何んの氣なしに斯う云つたのだがお梅の耳には怖しい響きのやうに聽いた、飲酒と姦淫と賭博と貧窮と下賤の中から誤つて美しく生れた自分の身は悉く害毒に充されて居るであらうと自分ながら恐怖して居つた彼の女は今更のやうに此の言葉に慄へ戰いた。

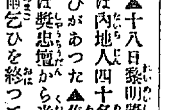
お梅は何にも彼も知り拔いて居る此の男の前では今更尋常らしい人並の事を言つた處で仕方がないと思つた折角新機軸直しの心算りになつて居た自分は又元の通りの惡魔生活に引戻されて行くのであらうと直覺した。

お梅は自分が京橋區本港町の裏長屋で車夫菊次郎の兒として生れた事から小田原の三ツ本からカノ子と名乘て雛妓に出た事その頃東鄉茂と云ふ大學生と戀中に陷つて居つたが横田定雄と云ふ以前の情夫が嫉妬して東鄉を殺害した事、それから清水家へ住替へてから東鄉の後を追うて小田原野村子爵別莊下の海に投じたが人に救はれて自殺を遂げなかつた事から廢町の松葉家から國松と名乘つて出て居た時分の事實生との關係大學生殺しの一件まで知つて居る此の男の前には見ねも外聞も無駄だと考へた。彼は身を投げ出して又昔のお梅に返つて終つた

其後有松の足は繁々と美人樓の門を潜つた。

『染之助さんは東京から情夫を呼び寄せた』こんな間違つた噂が朋輩の間に傳へられやがてドル且の鑛山屋の耳にも入つた。

『靑二才生意氣な事を爲やがるお前の社と乃公との間にどんな關係のある事も知つて居るまい今に見ろ』と鑛山屋は密かに憤恚の眼を光らして居た。



▲十八日黎明奬忠壇では內地人四十名の雨乞ひがあつた▲集つた人々は奬忠壇から光熙門外の農家の人々雨乞ひを終つて一同南山の大神宮に詣でた▲お蔭でどうやら雨模樣になりかけた哩とはお同行の一人のお自慢▲島村抱月氏曰く、藝術座は一年半振りに京城に來ました、內地では殆んど一年目毎に巡行して居ますが朝鮮にもこれからは一年目位ゐに參りたいと思ひます▲それに新らしい芝居の發達には山縣先生の云はれる通り是非秀でた脚本が必要である▲然るに只今では中村吉藏氏以外舞臺に上せるやうな脚本の作家がない▲西洋の飜譯ものは以前は一言一句も忽せにせず忠實に譯すと云ふが流行つたが今では大意を採つて書き直す傾向がある▲『お艶と新助』は舞臺の不完全なのが遺憾なれどお艶が飽くまで美に憧憬てお終ひまで自分の意志を徹底するのが覗ひどころであらう▲よく舊劇には女を彩りに悔悟させたり善心に立ちかへらせたりして安價なる同情を求めたものだがお艶にはチツトモ那麽ところがない▲それに『お葉』の覗ひ方なども近代藝術にはぜうしてもあんな味が出て來なければ文藝にならぬ。

濡れ衣と悔悟
一鮮婦人自殺

日夜自宅にて寄性[illegible]を仰て自殺を企て苦悶中を明云が發見しセブランス病院にて手當を加へしも遂に[illegible]悔悟の上十二日午後奬忠洞の共同井戶に投身して自殺を企てしも直ちに救助され生命に異狀なかるべしと[illegible]

六月十八日仁川入港 [illegible]

課題及募集規定 [illegible]

天氣 くもり 曇り時々晴れ (六月二十日)

商況

東京公債直取引(十九日出來値) 五分特別 九五、一〇 五分利[illegible] 一回四分 二回四分 甲五分 八〇、五〇 八一、六〇

深川在米特電 十九日現在高 朝鮮米 一〇〇、一八四 [illegible]米 四一、六四〇 內地米 一、七五五、九九七

東京期米特電 十九日前場 八月限 寄付 二一、七〇 高値 二一、七四 安値 二一、四二 止め 二一、五八

大阪株式

銘柄	拂込額	十八日前場	後場
宇治川水	五〇、〇〇	[illegible]	[illegible]
京阪電鐵	五〇、〇〇	[illegible]	[illegible]
東洋紡績	五〇、〇〇	[illegible]	[illegible]
合同紡績	五〇、〇〇	[illegible]	[illegible]
鐘淵紡績	五〇、〇〇	[illegible]	[illegible]
同上新株	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東洋汽船	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大阪商船	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日本郵船	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同上新株	[illegible]	[illegible]	[illegible]
堂島米穀	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東京新株	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大阪株式	[illegible]	[illegible]	[illegible]

大阪三品特電 [illegible]

大阪期米特電 十九日前場 六月限 七月限 八月限 九月限 十月限 十一月限 [illegible]

下關期米特電 十九日前場 寄付 高値 安値 止め [illegible]

雜報

◉綿糸布反撥 綿糸布は十六日の前後場を通じ慘憺たる大崩落を演じて左しもの强氣をして啞然たらしめ休會中の斯界は戰々兢々混亂狀態の裡に一日を過ごせしが休日明けは米棉安を入れて餘勢更に一段の暴落を報じたるより當地の如き手持筋の狼狽甚だしく午後に至りて段よげ物の投出し綿布三ヱ一は二百四十圓[illegible]

最底三十五圓處 を以て賣逃げに汲々たる向あり[illegible]

三品九圓內外の大反撥を報じ綿布龍レ一現物は四圓五十錢又一午前四十五錢方跳返せり

入電待ち見送り

綿布現物 [illegible]

黃燐積取延期 [illegible]

◉正米弱持合見送 [illegible]

微弱 人は見送り 降雨の反響案外

◉製茶益强硬 [illegible]

◉苛性曹達低落 一二圓安 [illegible]

◉蘭共同販賣狀況 [illegible]

◉植物油不味 [illegible]

◉寒天引締む 四十錢方騰貴 [illegible]

下關相場 [illegible]

南大門の廻穀 [illegible]

釜山穀物(十八日) [illegible]

生魚市場 [illegible]

仁川期米

▲十九日前場 (一變强硬)

大阪天候曇天の入電二節八十八錢ミ三錢安 高移り十四錢高に 寄付 六錢と安移り七節七十 成行と波瀾裡に强硬の [illegible]

期米 仁川海岸町三丁目 米豆取引所仲買人 齋藤榮之助 電話長三六七・三六九 賣買 (サ)又は(十サ)

市場零聞

△一變强硬 [illegible]

雨を見越して賣込み反動を來たし買物多く [illegible]

仁川米豆取引所

十九日の八月限

前場	
寄付	十八圓六十錢
止め	十八圓九十錢
高値	十八圓九十錢
安値	十八圓七十四錢
出來高	九萬七千五百石

平均値段	
一節	十八圓六十四錢
二節	十八圓七十七錢
三節	十八圓七十四錢
四節	十八圓七十三錢
五節	十八圓六十八錢

齊買取組高 [illegible]

▲賣過ぎ反動高 降雨來り存外少 大阪高相付つて跳返しの忽ち反動を來し [illegible]

▲縮少す [illegible]

株式會社仁川米豆取引所仲買人 高田仲買店 仁川海岸町三丁目 電話長一〇〇 [illegible]

▲十九日前場(一變强硬)

四百〇七丁と迄縮少 滿足な挿秧は到底望 今後降雨如何 甚大なる影響 近く降雨の再來 [illegible]

▲(イ)同店の賣九千餘石 [illegible]

前例の無い大煙火
珍しい仕掛煙火=水面に浮ぶ無數の灯
◆本社主催觀火會近づく◆

本社主催の觀火會はその日の近づくにつれて內鮮各方面の熱狂的聲援益々盛んとなり、今回の壯擧を贊成する投書或はその方法等に關する注意希望等の書信が日々係員の

▼机上山を 成すの景況である。今度の觀火會は朝鮮に於て古くから行はれたものに倣ひその雅俗の長所を折衷したものであるが、更に內地人側の希望の多くを容れて日本特有の花火を餘興として加へる事とした。煙火と言つても從來朝鮮で使つた

▼打揚煙火 は四時半のものが一番大きなもので之れより以上のものは曾つて打ち揚げられた事は無かつたのであるが今回は特に是までの例を破つて普通煙火の中に交へて六時のものを數十發打ち揚げる事になつてゐる、此の六時の煙火はその音響に於いて、光彩に於て上昇の高度に於いて

▼保光變化 の點に於いて全く今日まで京城に於いて打ち揚げられたそれとは大分趣きを異にしてゐる事を敢へて今から誇つて置きたい、それから打挑煙火と共に同じく餘興として試みらるる數種の仕掛煙火も製作者が苦心を重ねて作り上げたもので奇拔のものたる事は

▼更今喋々 を要せざる所であらう。水面に浮ぶ無數の灯が夏の夕の川邊を吹くそよ風に搖られ搖れながら紅い尾を曳いて流れるとき對岸の砂洲の上に立つて並べられた多くの篝火が一齊に猛火を發して燈々として闇に輝くとき附近の山々に谺せんばかりなる拍手喝采に迎へられて

▼沖天高く 彩火揚りて江面の熱火とその光輝を爭ふ壯觀は無心の魚も爲めに躍り時に夢を結ぶ水鳥の群れも浮かれ出て來る事であらう、風涼しき此の夜滿天滿地の紅い灯に明るい心となつて舟を浮かべ水面を走り或は纜つれて漂ふ

▼龍頭龍尾 の火炎の中を漕ぎ廻り、火を追うて躍り上る川魚の舟に飛び込むなどを肴に痛飲淋漓陶然たる醉心地となるのも一興ではなからうか

迷ふ心 少年少女の家出
誘拐か、性質不良か、家庭の紊亂か
兒童心理學上から見た幾多の原因

十七日午前南大門驛著の列車で水原小學校尋常四年生で十一歲の男兒が目的もなく汽車で水原から京城迄やつて來て迷兒になり警察署の世話で其夕刻又送り還された近來斯うした少年男女が家出して飛んだ人騷がせをする者があるが是等は其の原因が大抵誘拐かさも無くば性質不良とか家庭の紊亂に歸著するやうであるが之を兒童心理學の上から見ると此外に幾多の原因がひそんでゐることを世間から閑却されて居る丁度人類が

◘進步發達 する順序に野蠻の時代がある如く子供にも七八歲の時代が殺伐な氣性に富んで鳥や獸や昆蟲を殺す事を好む頃がある之を狩獵時期といつて此野蠻時代から遊牧の時代に移るやうに子供は彷徨性の時期に入るが子供の性質として甚だ

◘衝動性に 富んでゐて他から强烈な刺戟を受けると心がいろいろに迷ひ易く變化を好む結果或る機會に遭遇すると、つい彼處へも行つて見たい此處へも行きたいと云ふ妄念がフラ〳〵と頭に浮かんで家出することになるから此衝動性を教育上に善用して天性を發揮させることは

◘甚だ大切 なことである彼の神隱の迷信の如きは彷徨性をその儘に現したるもので田舍などでは野原か山へ行き或物を見又は鳥の聲を聞くとかして精神を刺戟され目的もなく深山に迷ひ込み數年後に屍體となつて發見された

◘例も澤山 あるが都會であると交通の便がよいため電車で何處へか行くとそこへ汽車が來ると何心なく乘車するといつた鹽梅にふら〳〵と彷徨ふことがある爲うして子供の行方が知れぬのを

◘昔は神隱 しといつてゐたが昨今では直に誘拐とか不良少年とか卽斷されてゐるが云ひ換へると自然に誘拐されたもので後日歸路を訊ねて見ると眞實らしい虛言を平氣で述べてゐるその話の通りに調べると全く跡形も無いことである家族を始め世間では嘘を云ふ

◘太い子供 であると思ふが强ち卽斷的に咎むべきことではなく之は十歲位から十四五歲までの彷徨性に富んだ時代は空想に耽ることが非常に强くその爲め想像を現實にあつた事と信じて嘘をつくのである此發作的虛言を充分に注意して

◘一の病氣 と思つて矯正に努めねばならぬ彼の武者修行とか諸國遍歷といふことが德川時代に行はれたのは此彷徨時代を巧みに敎育上に利用したものである近年は修學旅行とか休暇移住などによつて彷徨性を敎育的に利用されてゐる此性が

◘尙ほ發達 すると漂泊性となつて靑年の遊學とか都會に憧憬れて家出するやうになるものである斯かる子供に對しては最も厚い同情を以て矯正せぬと今度は本物の不良少年となる惧れがある

渚の砂

◘孫を殺して自殺 靜岡縣駿東郡小泉村杉山佐吉(五五)は長男太一郎(三一)妻いゆ(二四)の兩名が孫德(二つ)を置き去つて家出し佐吉は貧と病とに苦しみ十日孫の義德を日本刀で殺害し自分も自殺を遂げた

◘牛馬を毒殺 兵庫縣加西郡八幡町居酒業高木直三郎(四三)は斃死牛馬を共同牧に買取る爲め附近數箇村に亙り毒藥を拂へて夜間忍び込み牛馬の飼料に投入して三十八頭を毒殺したことが發覺して六月十五日逮捕された

◘姉妹三名溺死 兵庫縣神崎郡鶴居村田弥之助長女しづゐ(一二)次女こはる(八つ)三女あさゐ(三つ)の三兒は十三日午後附近小川の橋で遊んでゐる內三名共流れに落ち込み折柄の增水で姉妹三名は無殘の溺死を遂げた

◘間違ひ子殺 千葉縣新治郡湖川村鈴木友衞門方の養子吉次郎(四六)は妻ための(四二)が子迄ありながら同村の立花榮代次(二六)と怪しい仲になつて始末に負へぬから二人を毒殺しやうと酒德利の中に毒を入れて置いたが吉次郎の不在中榮代次が來たものでためは長男の高見(一〇)に其の德利を持たせて酒買ひに赴かせた高見は途中で殘り酒だと思つて其の毒物を飲んだもので半死の重態に陷つた

◘一家の全滅 鹿兒島縣屋久島宮の浦居住山林主事吉田周作妻俊子(三二)は夫の出張不在中三名の子供を自分の體に縛りつけて薩摩海に投身自殺を遂げたが急報に接して歸宅した夫周作は現狀で發狂し十四日夜刃物自殺を遂げて一家全滅した

◉京畿道百五十萬人から 排泄する人糞尿 一億二千萬貫

京畿道警務部から仁川警察署へ達した便所改造に關する通牒に依ると本道管內には雨覆の無い便所が全體に對する約三割あるが此等は何れも衞生上にも風紀上にも取締らねばならぬと言ふので今回

◆便所改造を勵行◆ する事となつた其構造は本便所は周圍は粘土と石とを混じた厚さ七寸以上の壁とし屋根は藁若は麥稈、板の類で葺き屋內には瓮若は桶の類を以て

◆尿壺尿壺の一箇◆ を埋め入口には板若は蜀黍稈等で開戶を作り決して公道に曝露した雨覆のない溜穴を設けたのみの便所を用ひしめてはならぬ事となり大正六七八年の三箇年間に完成せしむる事となつた、此は公衆衞生上及び風紀上から

◆是非取締らねば◆ ならぬ事であるが肥料として用ふるに當つても是非共改善を要するであらう因に本道管內百五十萬人から一箇年間に排泄する人屎尿は約一億二千百萬貫(一人平均八十貫)に對すると は穢い話しだが大きい(仁川)

□鹿の袋角採集
▼江原道と鹿の飼養

鹿の袋角は精力を養成する靈藥として古來人蔘と並び稱せらるゝものにして此の目的の爲めに飼養するもの多し江原道金城淮陽地方には從來之れが飼養盛にして一戶にて十數頭を所持せるものあり、鹿角は野生のものを高價とするも容易に得難きを以て飼養しものにして飼養は極めて容易なり、仔鹿は罠陷を以て捕獲し人家に飼養す食料は大豆、蜀黍及び草類にして大豆、蜀黍は多期の食料として一日一升五合宛を大豆は水に浸し蜀黍は其の儘給與す夏期は靑草及び少量の大豆を食せしむるのみ、其の他時々水を與ふるを要すと云ふ、一年の食料は前記の穀類三石及び靑草類として飼料の價格は二三十圓にて足る、袋角の採集は六月中旬及び八月中旬の二回に行ふ、其の法力强き者鹿に近づき先づ角を握りて次で足を縛し鋸を以て根元より角を切り取り切口にけ繃帶を施し角は倒に吊して血液の流去するを防ぐ、第一回採集ものは二本にて三〇〇匁乃至五〇〇匁あり其の價十匁三圓位第二回は重量百五十匁にして價安し靈藥とするは其の血液にして角一本の血液量はサバリ一個に滿さる卽ち此血液を其の儘飲用するを良とするなり血液の凝固したるものは刻りて煮て食す、採角に用ゐる鹿は七歲位よりとし頗る長命なりと言ふ一頭の賣買價格は二百圓內外なり

◉觀世流小澤師來京 觀世流家元地頭として三十年來斯道に貢獻せし大家小澤良輔師は鮮滿視察の途次十七日夜來京したるが來る二十日午後七時より京城ホテルに於て在京の師範役と共に素謠會を催す由

◉觀世流素謠大會 二十餘年來觀世流家元の地頭を勤め現代有數の謠曲家たる小澤良輔師は滿鮮視察の歸途十九日午後七時三十分南大門驛入京したるが二十日午後正六時より京城ホテルに於て自ら會主と爲り素謠大會を催す由にて目下家元より京城に派遣され居る羽山、野尻、山中の三師範役は何れも出場の筈なれば朝鮮にては空前の聞きものなるべく會費は僅に五十錢にて一般の來聽を歡迎する由因みに羽山老師は晩學の達人なれば會の爲め有本にて謠はるべしと番組左の如し

▲田村(山中梅翠羽山尙德小澤良輔)▲忠度(羽山尙德小澤良輔野尻汝香)▲角田川(小澤良輔野尻汝香羽山尙德)▲(山中梅翠)▲(羽山尙德山中梅翠)▲經上(野尻汝香小澤良輔)

京日愛讀者の特權
東京大相撲全鮮各地巡業中

東京大相撲太刀山、伊勢ヶ濱一行の鮮滿巡業團來鮮に付我社は例に依りて一行の景氣を添ふる爲め京城日報愛讀者各位との間に立ちて種々興味と利便とを兼ねた問題を提供致す事となりました。我社は既に巡業先乘年寄熊ヶ谷と協定し大相撲の朝鮮巡業地

釜山 馬山 大邱 金泉 大田
群山 京城 仁川 平壤 新義州

の各所に於て興行中其期間通用の

京城日報 讀者木戶大割引

券を其都度本紙に刷り込み切拔使用せらるゝ樣にして提供致します卽ち木戶錢は三十錢の定額を本紙刷込みの割引券持參の方に限り二十錢で入場が出來るのです更に京城興行中は本社、地方巡業中は各地の重なる支局にて

幕內お好み相撲 ‖ **飛付五人拔**

など好角愛讀者諸君の爲め特に出さしむる事とし、角道の興隆上大々的氣勢を添ゆる筈になつて居ります

□演藝案內

櫻井町 大正館 電話八七三
日本活動寫眞株式會社特約 ▲廿日より五日間名聲大喝采提供日延及割引なし ○實寫教育資料蠶卵の孵化▲米國キーストン會社近代の傑作○滑稽大活劇「デブ君と……海嘯」(全三卷)、日活會社特寫のキーストンの熱心なる活躍により全五子唄の長尺ヒルムに ▲米國トーマス、エイチ、インス會社特作品○戰爭? 平和? 「シビリゼーション」(全十卷)二箇年有餘に涉る大戰亂が無數の人命財貨を喪失せしめ悲慘なる波動を全世界に及ぼしつゝある時に當りシビリゼーションは米國大統領の熱烈なる援助に依て生れ文明の本義たる世界の平和人類の幸福を提唱せんとする大使命を宣傳す。インス社が……

京城壽町 壽館 電話一〇〇三
當る六月二十日より向五日間 ○竹本綱島太夫歡迎師匠淨瑠璃會……

治町 浪花館 電話二六〇
▲女流浪界の泰斗廣澤夏菊一行……

京城壽町 壽座 電話五七八番
東京藝術座松井須磨子一行 第三回替藝題 ◎中村吉藏作喜悲劇爆發一幕◎マイエルフエルステル作楠山正雄譯想出三幕◎キリシヤ悲劇エヂポス王一幕◎所作事京人形一幕 ◎愈々十八日十九日限日延なし

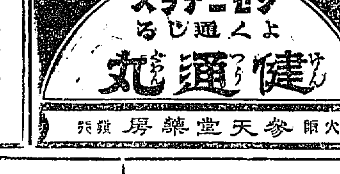
早川演藝部直營 有樂館 電話(階上)四九〇番(階下)二〇五番
▲六月十五日より公開特選番組 ▲米國南部テキサツ州の出來事……▲教育參考「愛犬の救ひ」……▲前代未聞大滑稽「誤殺」……

黃金館 電話三六三七 六五二
▲六月十七日より新提供 ▲新派悲劇「朧月」(全五卷)……活劇「ポーリン」(第九第十篇四卷上場)……

▲百日紅(京山福生)▲義士傳俊德丸(一夏菊)……

酒煙草きらいになる藥
禁酒丸 禁煙液 どんな酒煙草のみでも害なく心から嫌いになる郵券二錢送れば說明書又大澤博士其他名士の禁酒禁煙論進呈
本舖 大阪府下曾我商店

胃腸最新藥 ヂゲスチン
日本歐米十三ヶ國專賣特許
胃腸疾患、食慾不進、重病後の恢復期、營養補給の目的に、胸の疾患、小兒の營養不良等に賞用せらる
常用すれば血液を增し精力を盛んにす
◉說明書送呈
東京本町 藥種問屋 合資會社 圓城商店



商戰の武器は
萬年筆にあり御買求の好季
十四金ペン付(自動的吸出入回轉式)
御試用の爲め
實價 金一圓也
合成金ペン付同種
實價 金五十錢也
送料は內地八錢 滿鮮臺灣三十五錢 御注文は振替又は小爲替に限る

大阪市南區南綿屋町四四
電話南四一四九番
振替大阪三〇六二九番
キネン萬年筆製造元
八木工業所

水道斷水につき
緊急廣告
水道斷水されて火を消すに水なし。火災の危險言ふ可からず。此時に熊平は平素の愛顧に酬ゆる爲め左記消火器を全市民に提供仕る可く候
飛行機印粉劑消火器 一本 定價金二圓也
貸付方法 二本に付 一週間 金二十五錢
電話六二四番 熊平支店 京城本町二丁目

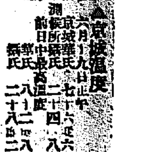
移轉擴張廣告
大正齒科醫院改 元南米倉町
稅所齒科醫院
京城旭町二丁目八一(府廳裏通り) 取次電話一三八九番

理髮器の革命見現わる
家庭實用 組合理髮器 定價 並製一圓七十錢 特製三圓 上製二圓六十錢 送料內地十八錢
堅牢優美鏡付箱入
▲バリカン附屬附 ▲剃刀 ▲ヒゲブラシ ▲粉トキ器 ▲フケカキ ▲耳掃除器 ▲耳搔
品質本位 本器は飛ぶ程賣れる有益品なれば衞生と經濟を重んずる方に是非御愛用をお勸め致します
發賣元 東京市神田區三河町二ノ十 振替口座東京參五六壹壹 光賞堂

愈々今夜限り
第四回目藝題
中村吉藏作 社會劇 飯 一幕
トルストイ作、島村抱月譯 カチユウシャー 四幕
入場料 特等一圓三十錢 一等一圓 二等七十錢 三等三十錢
藝術座專屬 男女優數十名
松井須磨子一行出演
京城 壽座

雨具一切
□柳製專賣品トランク
□雨合羽防水布引マント
□魔法瓶及中瓶取替
□其他旅行用具一切
京城本町一丁目
高木旅行用具店
電話一三四番

▼世界的大魔術師
松旭齋天一一行
▼モスコーフオペラ座專屬
露國男女優一行
六月二十一日より 毎日午後六時開演 日曜日晝夜二回
黃金館



報 ▲京城溫度 六月十九日正午 ……

明君道中記

第百八十一席　田邊南龍口演

聖人君子は其の罪を憎んで其の人を憎まずとやら、全く改心をしたと見たから木鼠三次をお供に加へることにして彼の猪の長五郎といふ者を追拂ひ、三次に手荷物を擔がせまして街道筋へ取つて返し宇都ノ谷峠を下り岡部の宿へ入つて參りましたが宿を求めんといふので向ふの藤屋といふ旅籠屋の店先へ參り　長『免せよ、今晩は主從四人であるが宿を頼む　亭主『エー折角でございますが、今晩は生憎お客が混雜まして空間がございませぬ故、お斷り申します　長『イヤ亭主、折角來たものであるから座敷は何處でも宜い、雨露を凌げば宜いのであるから泊めてくれ　亭『洵に恐入りましたが、お座敷がございませぬ故お斷り申し上げます、仕方がございませんから、又五六軒先へ參りますると、生憎混合つて座敷が無いと云つて斷はれた六七軒の旅籠屋を聞いて歩いたところ、皆悉く斷はる是は何うした譯であるか不思議なこともあるものだといふと、手荷物を擔いて後に從いて居りました木鼠三次が笑ひ出して　三『旦那何處の旅籠屋でも斷はる譯でございます、皆私の面を見ちや斷はつて居るから可笑くて堪らない　長『成程貴樣が一緒だから斷はるのか　三『然うでございます、私が從いて居るから旦那方も旅賊の仲間だと思つて斷はるのでございませう　長『イヤそれはとんだ者を伴れて參つた、いかさま旅賊と知つては泊めまい　三『宜うございます、少しお待なすつて下さい』三次は其處より何れへか參り暫くして戻つて參りましたが仲間體の姿になつて居る、長七郎驚き　長『コレ〳〵町人何處へ參つて其麼姿になつて參つた　三『何處へ行つても服裝を變へるには差支はございません、此の服裝で荷物を擔ぎ、お供をすれば荷擔ぎと思つて泊めてくれますさア、向ふの旅籠屋へお出でなさい』と宿外れの岡崎屋といふ旅籠屋へきわり此に泊りました、長七郎も此の三次には心を許し始終傍へ置いて相手をさせる、翌日此の岡部宿を立ましたが、宿を出て並木へかゝつて來ると向ふから職人體の男が參りまして三次の姿を見て　○『オイ〳〵其處へ來たのは兄イじやアねヱか』三次は聞ねえ振をして行うとするを追蒐けて　○『オイ三次兄イ、何處へ行くのだ、仲間姿になつたが何うした譯だ　三『誰かと思つたら熊藏か、俺はもう此の稼業を廢めて堅氣になつたのだから其のつもりで　熊『何に堅氣になつたと、そいつは豪氣だ』三『もう汝達は用は無ねから途中で會つても決して口を利いてくれるな、さア小使を遣ろ　熊『まア兄貴が改心をして堅氣になつたといふのは芽出度譯だ』と小使を幾許遣つたと見ねて熊藏といふ男は向ふへ行つてしまう、長七郎此を御覽なすつて　長『コレ三次、今のは其方の同類か　三『左樣でございます　長『佳なり其方は賣れた顔だな　三『まア此街道では私を知らねえ者はございません、盗人の方じやア良い顔でございます　長『盗人の方で良い顔といふのは餘り自慢にもならんぞ　三『へッ』と話しをしながら參りますと、又向ふから來た奴が　○『三次兄イじやアねヱか、妙な服裝で何處へ行くんだ　長『コレ〳〵三次何うものべつに知つた者が來るな　三『是だから東海道筋では迂濶に歩けません』長七郎はお笑い遊ばして岡部藤枝を越ねて島田の原へ差かゝつてお出になりました

らつば聞とゑろ　木村屋パンの　かあちやん買ふて坊の聲　（京城明治町　電話二八七〇）

三星　一九

六月二十一日　舊五月三日甲午　本命六白乾建先勝

▲六白　取越苦勞の恐有る日新事見合南方は吉　▲七赤　寳の入る日轉居旅行出產名弘入學命件普請婚禮水產業等萬吉　▲八白　大望叶日轉居旅行入籍名弘金談求職造船婚禮特許出願等萬吉　▲九紫　思はぬ損を受けんとす新事手控殊事は吉衛生に注意せらるべし　▲一白　淳良の日轉居旅行入學名弘金件求職婚禮建築試驗等受る等萬吉　▲二黑　見込の當る日轉居出海旅罰求職金談婚姻定期取引等萬吉　▲三碧　指金違いの恐有る日新事手控殊事は吉新取引は用心せらるべし　▲四綠　商事進算を生ぜんとす新事手控奢事は吉買物仕入に用心の事　▲五黄　移轉なを得ろ日轉居開業求職探鑛建前婚禮届入籍等萬吉物に勝の日

ルーデサック　特製品

A十個四十錢　B十個六十錢　菱形一個廿五錢　女用一個八十錢　▲月經帶一個七十五錢　廿個以上一割引　郵券代用一割增　要送料　振替京城三二七番　京城黃金町三　山田文殊堂藥房

新梅剤毒　唯一丸

身を亡ぼし家を亡ぼし子孫を亡ぼし國を亡ぼす　恐るべき梅毒

發生の時期なり

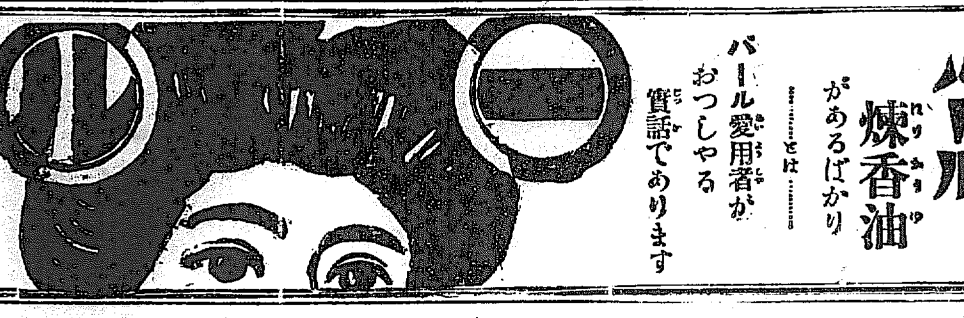
梅毒胎毒橫根瘡痳疾リユマチス等の病毒より來る病毒は毒菌を治滅すると共に安全に體內より驅除すべき靈藥により其目的を達す現今梅毒藥中胃腸障害其他の副作用を起さず此兩特效を併有するは梅毒專門藥唯一丸なり百藥効なき方は速に此良藥により不安を去られよ

三日分四十錢　一週間八十錢　二週間一圓五十錢　一ヶ月三圓　特製九圓十三圓　●全國有名藥店にて販賣せり（品切の時は直接御注文を乞ふ）　其病理養生法を親切に詳述したる冊子を無代進呈す送料四錢を要す

東京市牛込區神樂坂上　發賣元　中西藥局　振替東京千五百番　中西莊吉

新梅剤毒　唯一丸

花柳病　皮膚病　須古醫院　京城府明治町二ノ三二（元實業俱樂部跡）　電話二二〇二番



髮をしなやかに丈長がく　美しく房々と　黑くするは漆のやうに

廣い世界に「タッタ一つ」

パール煉香油があるばかり

……とは……

パール愛用者がおつしやる實話であります

本舖東京　平尾銑也商店　關西代理店大阪　平尾贊平支店

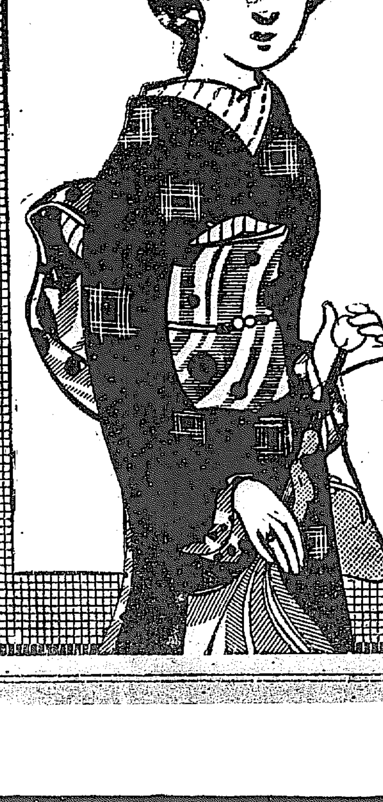
一番よくきく　日ヤケ止は　クラブ洗粉本店謹製の

クラブ　美身　クリーム

此のクラブ美身クリームは素顔の美を增し白粉の附を良くする品質第一のアレ、日ヤケ止にして畏くも

皇后宮職御用品

たるの光榮を辱うしつゝあり……



贊化病院　京城本町二丁目　電話二四二番

內科　小兒科　入院隨意　毎日五名を限り無料施療す

醫學博士　古城憲治

醫學士　上野亮藏

ゴム底輕便靴　丈夫德用　足痛なく

學生吏員自轉車乘遠足旅行運動用及び勞働用に適す　送料共各一足に付　特價六十五錢　甲品七十五錢　前金注文に限る三足以上は引替不向の時は返金す　費要す不向の時は送料實費　大阪南區尾屋町大賞堂　振替大阪壹貳六壹九番

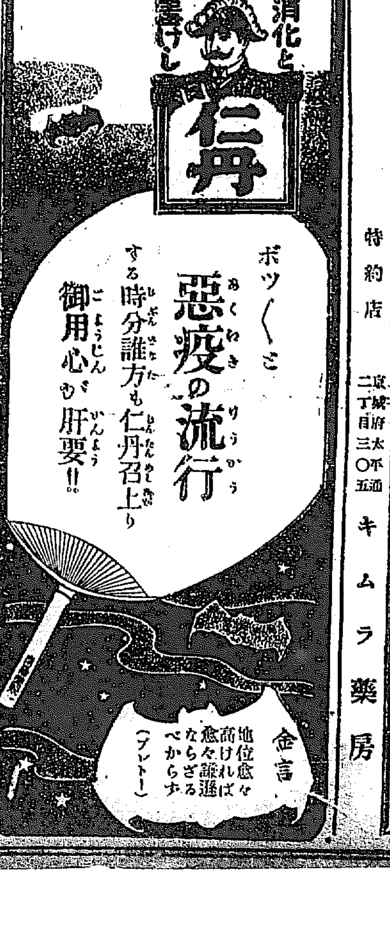
八木田博士著述方　島田博士御鑑定

アナタの胃病にはマーゲン

強胃消化錠

＝本劑の特色＝　二博士鑑定の本マーゲンは衛武胃腸藥と異り共卓効は根本的に胃の機能を盛んにし消化を佳くし食慾を增し胃腸を治し著しく胃を爽快にす

大阪市東區上本町五丁目　田畑保藥房



心臟脚氣　特効藥　ベリベチン

定價　10. 30. 50.

▲心臟諸症　▲脚氣諸症　▲水腫　▲動悸息切　東京市日本橋區　製造發賣株式會社　各地特約店及藥店にあり

特約店　京城府太平通二丁目三〇五　キムラ藥房

第三版

京城日報

六月二十日
（夕刊と合せて八頁）

本紙定價　一部金五錢　一ヶ月金壹圓五錢
發行所　京城太平通一丁目　合資會社　京城日報社
發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　小川三之介

下關期米特電
▲十九日後場 [illegible]
[illegible]より買物多く…五十五錢と…大阪筋…六十五錢…六十八錢と返し…市况は天候の暴りに…

朝鮮の教科書
編纂事業の概要
編輯課長　小田省吾

朝鮮總督府に於ける教科書編纂の事業は明治四十四年八月朝鮮教育令の發布、尋で同年十月普通學校、高等普通學校、女子高等普通學校規則の制定に依り學制並に各學校教科課程の確定せらるゝを俟ち着手せられたるものなるが、近時大に其の步武を進め、本年度に於て普通學校教科用圖書の殆んど全部を出版し、玆に第一期を劃せんとするに至りたるを以て聊か該事業の概要を記述せんとす。又朝鮮に於ける內地人子弟を教育すべき小學校の教科用圖書は、全然內地と同じく文部省著作の國定教科書を使用すれども、聊か內地と事情を異にせるを以て、若干本府に於て編纂使用せしむるものなきにあらず。由て主として朝鮮人教育の諸學校に使用すべき教科用圖書に付て說述し小學校用教科書に付ては之を併記するに止む。

一、普通學校教科用圖書（其一）

普通學校用教科書の編纂は曾て舊韓國政府學部に於ても之を企てたることあり、そは明治三十九年普通學校の始めて開設せらるゝや、三土忠造氏を學政參與官に囑託し、同學校に使用すべき教科書編纂に當らしめたるを嚆矢とす。該事業は極めて急速に進捗せられ、明治四十一年に至り一通り各教科目に對する教科書を出版し、當時存在せし約五十校の公立普通學校に使用せしむる外、從來私立學校に行はれたる不完全なる教科書は漸次該政府編纂のものに代へしむるの方針を取れり。然れども此時韓國は尙我國保護の下に獨立の體面を存せしを以て、該教科書の內容は我國定教科書の體に倣ひ、韓國王室等に關する事項を含むこと少からざりき。

次で明治四十三年八月二十九日、日韓併合の發表せらるゝや、半島は我國領土の一部となり、半島住民は齊しく　陛下の赤子となりたれば、右學部編纂教科書は其內容に於て甚しく不適當のものとなり、其の他學部にて檢定又は認可を與へし圖書、何れも皆時勢に適せざることゝなれり。

然れども遽かに此等多數の圖書を訂正改版するは容易の業にあらず。又新學制は併合と共に制定せられずして、併合の當初は各學校の教科課程の如き如何に制定せらるゝや猶ほ未知の時期なりしを以て、直に教科書編纂の事業に着手するを得ず。又假令着手するも一朝一夕に之を完了出版するの運に至り難きや明なり。由て先づ一時機宜の處置として『舊學部編纂普通學校教科書並に舊學部檢定及び認可の教科用圖書に關する教授上の注意並に字句訂正表』なる冊子を印刷し、當時存在せし百餘の官公立學校並に二千數百の私立學校に洽く之を配布し、之に依りて當時諸學校に使用せし各種教科書中不適當なる教材字句を訂正し又は必要なる事項を敷衍せしめ、以て教授上遺憾なきを期すると同時に一方變に舊學部にて編纂したる教科書の訂正出版を急速に完了し、明治四十四年度の最初より該訂正本を使用せしむることゝし、以て新編纂教科書の出版を見るまで過渡期の教授に支障なからしめたり。

然れども右訂正教科書は僅かに目下の時勢に適せざる教材語句を修正し若干必要なる事項を加へたるに過ぎざるを以て、新に現今の時勢に適應すべき教科書を編纂するは急務中の急務に屬す。斯くて明治四十四年五月に至り、編修官並に編修書記の任命ありしも、玆に最も重要なる問題は國語假名遣並に諺文假名遣に關する事項にして教科書編纂に着手するに當り先づ第一に該問題を解決するの要ありき

支那商工業の變遷（卅六）
今關天彭

一四　宋代の工業

趙匡胤出で、南平・後蜀・南漢・南唐・呉越・北漢等を滅ぼし、また太平の治を開き、名相かはる〴〵出て、國政が善く治まり、工業も隨つて進んで來たが、徽宗、欽宗の外難以後、遼金の勢が盛になつたので、南のかた揚子江を渡つて南宋となり、次第に衰亡の運となつた。

宋は開封（今の河南開封府）を東京とし、河南（今の河南府）を西京とし、この兩京の宮殿を建築して、規模の完備を極めた、即ち東京では、正殿は文德殿、朝を視る所は紫宸殿・垂拱殿、饗宴の所は皇儀殿・集英殿、宮中歡宴の所は需雲殿・昇平樓あり、便坐の事を聞する所は崇政殿とし、西京では正殿を大極殿と曰ひ、朝を視る所を廣壽殿と曰つた。この時代に橋を造る事が頗る進步した、その一例は洛陽橋で、洛陽橋は一名を萬安橋と呼び、長さ三百六十丈、廣さ一丈五尺あり、洛陽江の上を虹の如く跨つたといふ事である。

製造業は陶器類が最も進み、漆器・織物・筆墨等、みなそれぞれの進步を見た。陶器については、その名產地を窯と云ふが、定窯・汝窯・官窯・哥窯・龍泉窯・吉州窯等あつて、みな發達の運に向つた。その製造の法は大抵三つの進步したところがある。一はその材料で、土の細な潤のあるものを擇び、二はその色で、白・紅・青・紫の單純なる色でなく、三はその模樣で、劃花・繪花・印花の三種があり、また蟹爪紋・冰裂紋・斷紋等の諸式樣があつて、非常に妙である。漆については、その發明は（一）剔紅即ち堆朱（二）戗金即ち沈金彫（三）螺鈿、堅い漆の中に螺鈿をはめたもの等である。昔漆器があつて堅器が出來た。堅とは漆の赤多く黒少き色であるが、これによつて三種の發明が出來たのである。宋にはまた織物が發達した。刻絲は發達した一つである。それは定州から起り、いろいろの色絲で、機に上げた經緯の絲の上にかゝりつけ、樓閣・花卉及び龍や鳳や、或は詩詞や山水や、また人物等何でも隨意に出來るのである。

軍器は火器が發達し、眞宗の時代に水軍隊長の唐福といふものが、火毬、火蒺藜、火箭を獻じた。火砲は高宗の時代に、かの有名なる虞允文がこれを用ひて金兵を破つた事があるが、この時代には砲身を紙にて製し、鐵ではなかつた。一體火攻は孫子（書物の名）にも見ゆる如く、多くは風向によつて火を放つので、火藥を用ふるになつたのは、何時の比から始まつたか能く分らぬ。火藥に一番大切な硝石は、本草（書物の名）に見え、漢の張仲景はこれを藥劑とした事あるけれど、硫黄は舶來物ゆゑ、唐以前にないのは勿論である。因て自分は明の邱濬の意見に從つて、火藥を以て、唐以後俗間にあるところの燃火とともに、西域から傳はつたものとして置く。

隣邦を奈何……對支國策を確立せよ
中島生

（七）平和的侵入

勢力範圍と云ふ言葉は、支那を對象として考へ出された適り言葉なるかの如くに思はるゝ。今日でこそ、支那に對して露骨に手を出す國は無いのであるが、曾ては支那の分割、列强の間に支那の處分と云ふ事が、列强の間に企らまれた時の事を追想する時は、今日の支那國民たるもの、慄然として脣亡の寒きを覺えざるを得ないであらう。否單り本家本元の支那のみならず、我が日本國民も亦た憂は同樣であつたのである。

抑も列國が支那に野心を抱くに至りしは、日淸戰爭に依つて、支那の實力の微弱なるを看破せられた以來の事である。齊しく支那の老大爲す無きを見たる列國は、我れ先きにと土地の租借、鑛山の採掘、鐵道の敷設等の利權獲得に熱中し、殊て東洋の事に虎視眈々たりし露西亞と獨逸とは、先づ爪牙を現はして、露は東淸鐵道の租借と旅順大連の租借權を獲、獨は膠州灣の租借權と山東鐵道の經營權とを收めた。端を此れに發して、英佛の諸國亦土地に對し鐵道に對し、支那に要求する所多く、各々各自に便利なる土地を選んで、之を勢力範圍或は鐵道敷設範圍と稱し、自國の資本を以て鐵道を敷設し、自國の勢力扶植を企て、彼等の間に於ける鐵道利權の競爭は、殆ど領土を爭ふに同じく、露骨猛烈を極め、支那を分割せざれば已まぬ概があつた文明開化の國、基督教の國も、支那に於いては、斬り取强盜の類に外ならなかつたのである。激烈なる競爭の結果は列國間に武力を用ひざれば解決の困難なる問題をすら生じ、遂には各自相談づくで最善の利益を計らうと云ふ事になり、或は英佛、或は英獨、或は英露の間に種々の協定が出來た。彼等の間にこそ利益の協定が成立つて相互に便利であつたらうが、支那にとつては、列國が相談づくに賴らんとせば、危機は不測の間に迫るなきを保せないのである。獅子が餌食の前に集まると同じく、何れは分割の憂であつたのである。

但だ幸にして――支那の爲にも日本の爲にも――北淸事變の後に、日本が乾然支那の保全の爲めに、援助を與へ、日露戰爭の結果、列强と雖も、日本を無視して、支那に手を著ける事が能きないやうになり、同時に、支那人も追々に覺醒して利權回收の叫び聲が高くなり、大勢の爲めに列國も支那に對する野心は段々に抑壓せられ、勢力範圍政策なるものは、中止するの餘儀なきに至つた。

鐵道の如きも、多くは支那の官辦となり、日本の南滿鐵道、露西亞の東淸鐵道、獨逸の山東鐵道、佛國の滇越鐵道、英國の九龍廣東鐵道等を除いては、外國の借款鐵道なるものは大抵支那に回收せらるゝか、乃至は支那に有利な借款條件に改められ、列國は鐵道の資金だけを貸付けて、利子を收め、又は鐵道材料の賣込み位の所で滿足するの外なきに至つた。

さり乍ら、一方の災を防げば、他方に又禍が迫つて來た。淸朝三百年の社稷は、朽廢せる大木の倒るゝが如く、一朝にして顚覆し、其間風塵三尺の劍を以て戎衣克く社稷を支ふる者もなく、革命相踵ぎ、民國共和を現出す、內訌熄む時なく、財政窮乏して國家建設する能はず、飢たる者食を擇ぶに遑あらず、進んで資を外國に求むるの切なるに至るや、忽ち列國の覬覦を招いて、借款政策に於て、又復列强の競爭を惹起するに至つた。

英國に於ける有名の支那通、ジェー、オー、ピー、ブランド氏が其著書中に言ふ所は、言辭稍々峻酷であるが、又肯綮に中るものがある『近時國際間に於ける盛衰興亡の跡を見るに、其裏面には常に諸强國の財團の潛伏せるあり。此の財團たるや、カーネギー平和殿に悠遊せる白鳩の如きものでなく、常に鷙禽を挿て餌食とする餓たる鷹の如きものである。土耳古、波斯、及び支那の近狀は『平和を標榜せる侵入』によりて國土を蠶食するは、兵火を以てするよりも遙かに優勢且つ有利なりとする、此種財團の活動を明示するものである。土耳古も遂に之が爲め起つ能はざるに至つた。今や支那共和國も亦同一の徑路を踐まんとす。一方に於ては、政治的金貸しの懷柔に弄ばれ、他方に於ては北京大官の收賄腐敗の爲めに遂に破滅の運命に陷らんとするのである』と。まさか支那が借金の爲めに滅びる事はあるまいが、內に紛爭を重ね、外は無謀に借款

大阪より

△大谷派負債整理　大谷派本願寺にては大正七年春嚴如上人二十五年忌大法要を執行する筈にて、明年四月迄に負債整理を完結すべく二百萬圓を募集の豫定なるが其上大々的に新教を擴張する計畫なりと

△戰時保險低落　三井物產入電によればカルカッタ保險組合は戰時保險率を左の如く改正したるも前電に比し一段の低落なり
印度東海岸緬甸北米支那一分五厘▲同濠洲一分同アリテン仁海峽土南米波斯二分▲同緬甸九厘▲同海峽殖民地七厘五毛▲同瓜哇根盤谷東洋一分▲同錫蘭七厘五毛

△受託制限撤廢　滿洲發內地行貨物停滯のため貨物受託を制限し輸送し居れるが近時稍々貨物緩和の傾向を生じたるより試驗的に受託制限を解除し輸送したる結果別段支障を來さゞるを以て今回九州及び下關發噸扱に限り輸送數量に制限を附せず本州及び[illegible]以東は一驛二噸の制限に止むる事に改訂せりと

△臺灣運賃値上　商船會社にては內地臺灣間往復運賃を八月一日より四割方引上ぐるに決したり

△藤田組金山買收　藤田組は臺灣カレン港金山を鹽水港精糖所より五百三十萬圓にて三箇年間試掘の假契約成立せり（大阪每日）

日報詩壇

朝鮮風俗雜吟　大久保晚香

揷秧
俚歌聲裡綠茸茸。鼓者在畦髮又鬟。手揷秧何慢慢。魂飛勞餉一檮醪。

灌漑
扁平方杓淺如盃。四索分持可倒擡。曳一張還一弛。掀翻掬水灌田來。

喫煙
炎暑想他村婦勞。急砧殺杵四隣喧。睡夫也獨恬逸。一管煙管千秋高。

露臥
不綢蚊幬不設床。燻柴煙罩長賬。夫蠻習身如鐵。露腹朝天臥路傍。

寒釣
大江百里白凝銀。步涉縱橫不問津。癡有人看似鶴。穿將冰壁釣潛鱗。

汲水
雙髻腰上架橫桁。兩端懸罐平。婦別看頭戴甕。朝汲神泉行。

賀節
苦心投得數緡資。懸額扁額呼賀節。擲零錢求一片。較將大小擇多時。

新婦
深閨與世隔雲霞。門外何曾去看花。得卜婚期不管。眼將兩眼入郎家。

早婚
早婚得意遠謀無。黃口加冠未自扶。彼貧窮難娶者。強齡御敵小兒呼。

葬儀
葬儀低佪欲去遲。行行斷續挽歌悲。借他季世趨虛禮。口曖哀號淚不垂。

社員募集
希望者は履歷書携帶御出頭を願ふ保證人二名を要す
給料は面談の上取極む
京城長谷川町五十八番地
帝國公債信託株式會社朝鮮支部
電話長二五三四振替口座京城二〇一七

一年三月卒業
地方在住中學生募集
大日本模範中學會
學監 慶大教授 川合貞一氏　理學博士 岡村周諦氏（會費月一圓六十錢）
東京神田三崎町三丁目
全國大新聞曰く大日本模範中學會發行の『模範中學講義錄』は教育主義の完備せる中學講義錄也と激賞し本講義錄にて獨習せば中學校に入學の必要なしと評せり。本會講師は皆東京官公私立各中學の優秀なる先生ばかりで實際生徒に敎へるより以上親切に講述せられたるもの小學卒業生が家事の傍ら最も容易に中學校同等の學力を得るは本會講義錄に限る
見本付會則をハガキで申込あれ無料進呈

鑛業講習錄
本校は最新式通信敎授を以て鑛業技手及び鑛務員を養成し目下缺員に苦しむ斯界に就職紹介するを目的とす
此際獎學資金壹圓宛メタル帽章贈呈 其他五大特典提供
校則往復はがきにて申込あれ
東京神田區仲猿樂町 大日本通信鑛山學校

愛讀者大會の記事と寫眞を滿載せる七月號
東京本町 博文館

少年世界
▣雲の平の難路横斷……蔦原
△職工の子（事實小說）……野尻抱影
▣島の寶（お伽小說）……巖谷小波
△恐しく冷たい物……横山健士
▣怪猫物語（奇談小說）……女屋秀彥
▣我は大名小姓（立志小說）……高橋淡水
△馴の話 敵兵に噛ついた犬……大河原教篤 生田葵
▣僕の自白……奥野他見男
△大發明家エヂソン……佐藤教綜
△附添ひ行列……竹貫佳水
▣怪艇？海獸？（冒險小說）……江見水蔭
定價十二錢 郵稅二錢

少女世界
▣姫の小舟（お伽小說）……巖谷小波
△鈴木は何處へ……（寫眞小說）四條英子
▣人外境の黄金窟（冒險）……
△オペラバック……（滑稽繪話）
▣旅の話……（その一）（その二）（その三）
▣蟻の塔から……沼田笠峰
△ペス物語……佐野都莉子
△濱豌豆の咲頃……尾崎みどり
△夜中の舞踏……大井菊
▣心さびしく……岩崎史郎
旅で會つた少女……山川亮
夏の船路……細川武子
ひとり旅……小林小萩
定價二十錢 郵稅二錢

雜誌 人間會
刊行の辭並に內容書ハガキにて申越次第無代進呈
大阪東區南久寶寺町 振替大阪二三四七九二 魁文社

繪絹 ぬめ 各種紐類
京城明治町筋 尾琴屋 電話一三五九番

高級食品 珍味 乃しいか
宮內省御買上品たる「乃しいか」は目下東京花柳界並に上流社會の家庭用として缺くべからざる佳肴と愛せられつゝあり
美味滋養
店舖 東京日本橋區てりふり町 長崎屋 電話浪花四七四八番 振替東京三一五一〇番
工場 東京淺草區元鳥越前 電話六一二番 長崎市馬町一五 電話一六七四番

最新刊
書名	著者	定價
閨族の解剖	神田眞民	一、五〇
郷等の爲めに代言す	田中玉堂	一、五〇
大正國民の修養	遠藤隆吉	一、二〇
小學教育の最近研究	帝國教育會編	一、六〇
補習學校の組織及經營	川本宇之介	一、六〇
最新工業電氣化學講義	丸山	一、五〇
教案中心歷史教授の實際案	山田義直	九〇
Xレー	杉本儀藏	二、二〇
歐洲美術巡禮記	高村眞夫	一、六〇
大正之青年と日蓮主義	柴田一能	一、〇〇
改館商店繁榮策	寺長	一、〇〇
新式英語獨習自在	初學英學會	六〇
高山彥九郎	山路愛山	九〇
大聖日蓮	高須梅溪	一、〇〇
大正青年訓	大町桂月	五〇
處世論語	澁澤榮一	六五
端唄及都々逸集		五〇
實用速記術	一葉 坪内排藏	八五
貯蓄のをしへ	秋山湖風	三八

大阪屋號

商業登記公告
支配人解任　主人山邑太左衛門ハ大正六年六月廿日支配人石野熊一郎ヲ解任シタリ
支配人選任　支配人ノ氏名住所　京城府明治町武丁目七拾番地 內田留吉、主人ノ氏名住所　兵庫縣武庫郡魚崎町魚崎四百五拾番地 山邑太左衛門
右大正六年六月拾六日登記
商號新設　商號 三益社、營業ノ種類 牛骨牛油牛皮、貿易商、營業所 京城府鍾路丁目武拾七番地、商號使用者ノ住所氏名 京城府武橋町八拾九番地 李景義
右大正六年六月拾八日登記
京城地方法院

（元明治屋跡へ）
移轉
日の丸小間物店
六月廿一日より廿五日迄
景品付大賣出し

支那の形勢

▲李經義就任拒絶說 張勳の代表會議提案理由

形勢は猶は行詰りの域を脱せず目下の處にては果して何人が内閣を組織するに至る可きや豫想つかず李經義は自己の總理就任に對する反對益々大なるを見て就任を拒絶せりと傳へらる又張勳將軍が時局解決の方法を諮する爲め天津に臨時代表會議を開かん事を提議したるは恐らく時局解決の困難を感じ責任回避の爲めならんと觀測せらる(北京特電)

▲張勳氏反感を招く 孫文氏の通電=南北妥協難

北京に於ける張勳氏の横暴は南方民黨をして益々反感を大ならしめたり十六日孫文氏より天津の某處に宛てたる電報に曰く今日となりては假りに北京より南方民黨に對し妥協を申し込むも倪嗣沖及び張作霖を嚴罰に處し其他獨立せる督軍に對し相當の處罰を爲さざる以上飽く迄兵を止めずと(北京特電)

▲國會改選令不日發布

支那政府は今回解散されたる國會議員に對し十八日五千元及び旅費給與方を財政部に命じたり又政府は國會改選を爲すため諸般の準備に着手し改選令を不日發布の旨公宣せり(上海特電)

▲督軍の海軍參加勸誘

廣東に於ける六省聯合の督軍等は北方討伐に就き海軍の參加を勸誘しつつありとの風說盛んにて海軍は政府に二週間の休暇を請求せるが之れ形勢觀望の地位に立たんとするものならんか目下支那軍艦の精鋭は浦口及び呉淞に集合し居れり(上海特電)

▲畢督軍印綬を渡す 平素反目せる許師長と衝突の結果

平素相反目し居れる黑龍江省督軍畢桂芳氏と同省第一師長許蘭洲氏とは農民救濟問題を動機として遂に破裂し許師長は兵力を以て高壓的に畢督軍に印綬の引渡を迫り軍隊に實權を有せざる畢督軍は之れを如何ともする能はず遂に督軍の印綬を許師長に渡し直に督軍公署を出で十八日齊々哈爾を出發し奉天に入り次で北京に向ふ事となれり(大連特電)

○米國務省提案拋棄

米國の提議せる聯合對支宣言は聯合國の誤解を惹起したるが爲め米國々務省は此の提案を拋棄せり國務省は之にて本件が終結せるものと認め居れり(華盛頓電報)

○政友臨時大會 對議會方針議決

政友會は十九日本部に臨時大會を開き特別議會に對する方針を議決せり之れより先き午前十一時三十分協議會を開き大會に附議すべき宣言書を附議可決し次で原總裁より臨時外交調査會委員就任經過報告あり正午散會次で午後二時大會を開き貴衆兩院議員院外團地方支部代表者等三百餘名出席原總裁の時局及び對議會方針に關する演說あり宣言書を附議可決し終つて新舊役員の更迭を披露し兩陛下の萬歲を三唱して散會夫れより一同原總裁主催の三縁亭の懇親會に列席せり(東京特電)

○大谷伯の奉伺

大谷光瑩伯夫妻は十九日霞ケ關離宮に李王殿下の御機嫌を奉伺せり(東京特電)

●柿栗の收穫高

大正五年に於ける柿は果害、風雨害又は病害を被りたる地方あるも概して[illegible]相當の收穫を得たり、即ち柿四百四十四萬七千四百四十貫、栗四百二十萬三千九百四十九貫にして之を[illegible]

年次	柿 本數	柿 收穫高	栗 本數	栗 收穫高
大正三年	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大正四年	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大正五年	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

[illegible]が昨年中の牛疫發生數は總數百九十六頭にして鍾城郡の六十五頭を最多とし何も豆滿江沿岸各地に發生せる[illegible]

○肥料益々騰貴

肥料は連日昂騰の氣配なるが品拂底の際なれば猶騰貴すべし(大阪特電)

○石井大使發神 日期

特命全權大使石井菊次郎子一行八名は七月十三日神戸解纜の郵船阿波丸に乘船すべき旨郵船會社神戸支店に通知ありたり(大阪特電)

○坂田公使渡鮮

坂田新任西班牙公使は福岡縣嘉穂郡の令弟田邊古川鑛業所長宅に立寄り十九日到著の三浦書記官と同行同夜下關發渡鮮赴任の途に就けり(門司特電)

◉水道問題 根本解決の必要

京城水道の給水最大能力は由來四十五萬立方尺に過ぎずして使用水量之れ以上に及ぶ時は如何にしても配水不能となる事は屢々報道せし所にして使用水量四十五萬立方尺以下に在れば漢江の水の涸渇せざる限り斷水等の憂斷じて無き筈なり然れ共暑氣に向ひ使用水量俄かに增大し而かも一日中不平均なる水の使用は延いて斷水となり壓力の不平均缺乏となり高所への給水比較的困難となるものにして漢江の右、鷺島の西端二萬四千百十六坪の水源池より取水喞筒により京城の東部高陽郡所在大峴山配水池に押し揚げ即ち壓力を附加し始めて京城及び龍山市街に給水を行ふものにして

▲大峴山配水池 は水源池送水喞筒より高きこと滿水面にて二百六十一尺市街中央鍾路通より高きこと滿水面にて二百十六尺餘に及び豫備として使用水量少き時此の配水池に貯水するものにして二個の配水池容積三十萬七千三百立方尺にして有効水深十九尺五寸即ち配水池水位高十九尺五寸を算する譯なり最近去る十六日に於ける配水量は五十二萬九千百立方尺(約七萬八千石)にして水源地よりの送水量は四十五萬九千八百立方尺(約六萬八千石)に過ぎずかくて配水池の水位午後十時に僅かに三尺九寸を算せり即ち昨今已に京城水道は殆んど危險を冒して送水しつつあるものにして

▲此れ以上の送水 はボイラーの破裂等危險を伴ふものにして夜間の斷水亦已むを得ざるものあり近く漢江人道鐵橋落成の曉には十五吋の鐵管を添架して仁川水道鷺梁津水源地より一日一萬五千石の給水を仰ぐ事となるべく目下給水能力約六萬七千石に加算すれば八萬二千石となり聊か心を強うするに足るものありと雖も京城人口の激增と都市の發達とは益々使用水量の激增を來すべく京城水道根本的改革は焦眉の急務たるべしと云へり

◉忠南苧布の光榮

忠南苧布は忠淸南道韓山を中心として附近舒川林川保寧庇仁藍陽等の各地に產する事は既に人の知る所なるが大正三年扶餘保寧藍陽舒川の四郡に苧布組合を設け又其の統一上聯合會を置き道の勸業奬勵と相俟ちて著々其の製品の改良に意を盡し各市場には檢査所ありて一々製品の檢査を爲し合格品に非らざれば販賣せしめず爲に尺幅等は一定し又需要者嗜好の變遷に鑑み品質に於ても舒川郡一部の古來薄地を以て特色とせる個處を除く外は總て實用向として地緻密を奬勵し來りたる爲め一般の歡迎を受け各市場とも取引頗る活潑の狀況にして鮮人は勿論內地人の著尺地襦袢地布團地等にも誠に恰適のものを製出するに至れるが殊には大正博覽會拓殖博覽會及び始政五年記念朝鮮物產共進會に於て孰れも金牌受領の光榮を荷ひ本年春京都博覽會に於ても金牌受領の光榮を得又東京に於ける奠都五十年奉祝博覽會に於ては畏くも皇后陛下の御買上品となり近くは長谷川總督上京に際し組合員の謹製せし苧布十疋を畏くも天皇陛下御獻上品の一部に加へられたるやに拜承し組合員一同は感激措く處を知らず奮勵益々斯業の發達を期すべく努力しつゝありと(公州)

◉擧國一致の外交策 暹羅駐箚公使 田付七太氏談

暹羅駐箚特命全權公使田付七太氏は十九日午後九時四十分南大門發北京に向ひたるが往訪の記者に語つて曰く

予は二十餘年前加藤公使時代に領事官補として京城に駐在した事がある今回二昔し前の馴染の地を訪ひしに全く昔の俤は無く市街の整備したる事は驚くの外ない予が

▲今回の北京行 きを或る重大なる使命を帶びて居るが如く傳へる向きもあれど事實其の樣なる事は無く予は單に個人として一度も支那の地を踏みし事なければ今回の歸朝を機として北京天津漢江上海等を視察せんと思ひ立つたのである、然れども昨今の如く紛糾せる外交場なる北京を往訪する事なれば或は多少外交上の要件の出來して其れに携はるやも圖られないが今豫め何事の生起するやは勿論語り得ないのである、米國の

▲對支警告 は其の那邊に落著するや知らざれど其の結果は差した事はないであらう、米國の外交は元來斯くの如く突飛極まる事が往々である、之れ彼の國一流の外交策にして我國の如き正義溫和の外交より見れば隨分無遠慮にして又亂暴なるものである、我が對支方針は始めより無關渉主義にして今も猶其の政策を改めたるを聞かぬ、さりながら米國の對支警告あり其の結果の齎す處支那に於ける我國の優先權を無視せるが如き場合には我も亦適宜の處置に出づるは勿論の事である本野外相は今日猶

▲非干涉主義 を唯一の方針を確立して之れに由つて我が支那の如き國に對しては豫め一定の事を行はんとするは頗る困難なる事にして恰も柱に膠して瑟とするが如きものであらう、支那問題は世間の評するが如くしかく容易に片付くべきものに非ず少くも今世紀を通じて世界の問題であらう、而して我國の休戚に繋つて居る問題の解決如何にあり歐洲列強は今や其の全精力を戰に傾注して又支那を顧みる能はず我國は此の間に於て對支問題を悉く解決し能はざる迄も支那に對する確乎たる

▲優先權の基礎 を固めねばならぬ、今や我國の言論界は對支其他の外交に對して寧ろ外交官を糾彈し攻擊しつつあり其の論鋒の猛烈なる米國等の反政府新聞すら遠く及ばざる處である、外交問題に就ては一々當局者より說明する事能はず當局として甚だ苦しい事もあるだらう、予の考ふる處に由れば在東京の新聞記者と外務當局者とは常に相提攜して外交に關する國民の步調を整へ置く必要あり今回表されたる

▲外交調査會 の如きも此の理想に一步を進めたるものとして慶賀する處である、外交の大方針に對しては豫め國民の代表者と目すべき政黨首領と打合せを爲し國論の統一を圖る事は必要である、一問題の起る每に甲論乙駁して其の歸結する處を知らざるが如きは外國に對しても甚だしき不體裁である、歐洲諸國に於ても國民の有力者と外交に關する打合せ會を爲す事は從來其例少からざりしが特に開戰以來此の傾向著しく進步し其の名を外交調査會と稱せざれども英、佛、伊、等の諸國に於て俄かに閣員の任命數を增加し民主黨、勞働黨、自由黨等あらゆる國民の代表者を內閣に列したるが之れらは主として外交及び軍事の劃策に參與する處であれば我が外交調査會も上下の期待に添ふべき滿足なる外交の大方針を決定せられたきものである。

◉慶南初繭取引

慶尙南道にては十三日以降左記各地に初繭取引あり尙州にては十三日千百十二貫を賣却せるが其の平均價格六圓五十六錢を示し安東にては十四日初取引を爲し最高七圓九十五錢一厘平均六圓十三錢五厘の價格を唱へ又榮州の初繭取引額は平均五圓九十五錢なりき

◉海藻漸次上騰

釜山稅關海藻檢査所に於て五月下半月中に各種海藻の檢査を行ひし結果は石花菜六百七十一俵、鹿尾菜一俵、袋海蘿六百四十二俵、眞海蘿九俵、銀杏草千十五俵、櫻草五十五俵合計二千三百九十二俵にして前年の同期に比すれば袋海蘿及び櫻草の幾分增加せるも他は何れも減少を示し合計に於て千十八俵を減じ居れるが之れが理由は本春に於ける寒さ激しかりし爲め海水溫度低かりしに因り叢生を害せしに因るものなるが價格は品不足の爲め自然騰貴し石花菜上物は十五六圓中物十三圓下物九圓袋海蘿上物は二十六圓中物二十三圓眞海蘿上物六十圓、銀杏草四圓、櫻草五圓內外にして內地に於ても一般不作の模樣なるを以て本年の海藻類は漸次價格の上騰を見るべし(釜山)

◉各地の降雨量

十八日來の喜雨に仁川觀測所の發表に依れば十八日午前八時より十九日午前六時に至る降雨は主として中部以南の諸地方にして其雨量左の如し

觀測地名	雨量(粍)	觀測地名	雨量(粍)
木浦	一四〇	京城	三三〇
釜山	三九〇	江陵	一四〇
大邱	二三〇	龍岩浦	一〇以下
仁川	四〇		

而して釜山木浦大邱地方は今猶降雨中との事なれば先日來の降雨と併せて農耕上多大の好影響ある可し但し北部地方は龍岩浦の一粍以下の降雨ありたる外各地[illegible]

◎臨時海員試驗

遞信局海事課仁川出張所にては來る七月六日より臨時船舶職員試驗を執行すべく志願者は七月一日迄に願書を提出すべしと試驗科目左の如し

甲種運轉士▲乙種船長▲乙種一等運轉士▲乙種二等運轉士▲丙種運轉士▲船舶內燃機關士▲機關長▲一等機關士▲二等機關士▲

◉京畿慰問金發送

京畿道にては豫て東京本部より依賴を受け聯合國傷病兵並に罹災慰問會寄附金京畿道管內分合計四千七百六十八圓に達し十八日衆議院內同慰問會宛送金を了せり

◉京城電話增設

京城郵便局の電話加入者數六月十八日現在にて三千四十四なるが本月二十四日より四十五名分增設工事に着手し來る七月一日より開通せしむる筈なるが其後の增設は尙未定なれば希望者は今の中速かに申込まるべしと因に道廳增設の分に對しては既に三十名の申込者あり若し申込遲延せば架設の機を逸すべしと云ふ

●吉林信託公司問題

吉林の錢糧兩業の信託事業は往年[illegible]されしが最近日本人[illegible]なる紛爭を惹起したりとの報あり(吉林)

●金品を捲上ぐ

全南務安郡[illegible]平に出で同地[illegible]方に到り易を見る[illegible]惡しき之を治するには同人の衣類を[illegible]延び村民女なる者を[illegible]分は更に跡に引返し海龍面に赴き同樣手段を用ゐて金品を騙取しつゝありし所を長城分隊の手に取押へられたり

●宇佐美長官歸任

東上中なりし內務部長官宇佐美勝夫氏は十九日朝釜山上陸直ちに京釜線列車に搭乘同日午後九時南大門驛著汽車にて歸任せり同驛には各務部職員其の他の高等官民間有志等の出迎ありたり

◉鳥取視察團來期

鳥取縣の蠶業視察團一行十名は同縣內務部長財部實秀氏團長となり來る二十二日入京の筈なり

◎新の講演會

朝鮮新聞社にては今回來鮮の佛教家八淵蟠龍師を聘して來る二十三日午後二時より高等女學校講堂に於て講演會を催す由

●山縣氏轉宅

ソウルプレス社長山縣五十雄氏は竹添町二丁目百八十二番地に自宅新築中の處此程落成したるを以て新宅へ移轉したりと

人事消息

▲田付七太氏(暹羅駐箚特命全權公使) 十九日夜北京へ

▲野坂吾三郎氏(野坂農場主) 十九日夜入京浦尾へ

▲岸秀次氏(慶北道技師) 同上

▲牛島正巳氏(滿鐵社員) 十九日夜退京

□□□□蘭言北語■

獨軍が使用して居る燃燒液の發明者はパウル、サガンと云ふ獨逸人である▲ト人は數年前米國に渡航し人の注意せない化學研究許りやつて居た▲で世間からは偏人化學者だと云はれて變り者の樣に取扱はれて居た▲處が先達ニユージヤシーのアトランチック市でお手のものゝ毒瓦斯に當てられて死んだ▲彼は戰前莫大な報酬を貰ふ約束で其の發明に燃燒液の特許權を獨逸政府に讓つた▲然るに獨逸政府は約束を破つて一文の報酬も呉れなかつたので非常に獨逸政府を怨んで▲米獨斷交前獨逸政府を相手に訴訟を起すと言明して居たが▲更に別種の毒瓦斯を發明して獨逸政府に對する腹癒せに▲其れを米國政府に提供して獨軍をウンとなやましてやると云つて居たが▲其の實驗中に死んだのは惡魔の發明の成功を立證するもので不幸であるが▲怨念にも製造の秘密は彼の死と共に永久不明の裡に葬られて仕舞つた▲支那は遉に文字の國であるから好い事を云ふ▲今度の政變は要するに飯椀の爭奪戰であつて▲張勳の大飯椀の爲に議會は解散となり▲八百の小飯椀が犧牲にされて乾上つた譯だと▲之は支那新聞の批評だが『パン』と書かずに『飯椀』は面白い

◎大正館の名譽大寫眞◎

◎主義と特殊の動機と偉大なる使命を帶びて生れたる

活動界最高權威の名譽大寫眞は漸く到著せり

日本に於ける最初の公開場所
東京 三月廿六日より 帝國劇場
大阪 三月三十一日より 朝日座

米國大統領ウ井ルソン氏御臨場名譽大寫眞
米國トーマス、エイチ、インス會社特殊作品

平和？戰爭？

シビリゼーション

此のフヰルムは單に活動寫眞と云ふ純な名稱に捉はれる時は、ほんの娛樂物として奇抜な題材を大仕掛けに取扱つたもので有ると云ふ丈けに過ぎない者の樣に早くも想像されて仕舞ひますが、此のフヰルムの製作された動機の偉大さと、目的の偉大さと、而して米國大統領の此に熱烈な讃同を捧げて有らゆる便宜を圖つて與へたと云ふ理由、並に一般フヰルムの辿らない別の途を辿つて作られたものであると云ふ事實を知るに至りまして、初めて此の寫眞が活動寫眞と云ふ普通觀念の範疇を超越し、離脫したものであると云ふ事、而して嚴にカイゼル、ウヰルヘルム帝と獨逸の軍國主義とを徹底的に此責する無聲の大演舌、不文の大論說であると云ふ事が御判りになりましよう、此寫眞の全體を極く簡單に極めて切實に云ひ盡くしましようなら、極めて聲の大きい平和の提唱である事實としか思へない程巧みに演出して居るのであります。

此寫眞が初めてニユーヨーク市のクレテリオン座に現はれ其れが觀客に理解されてからと云ふものは非常な人氣で、實に百五十日と云ふ驚く可き長期間滿員の盛況を呈したと云ふ事で有ります、最後に平和攪亂者の當然受く可き苦痛を遺憾なく現はして仕舞へます、寫眞の全般は歐洲戰爭の醜身な有樣を以て如何に異常な寫眞で有るかと想像されます。

該寫眞製作の動機……歐洲大戰の慘禍に對する同情
該寫眞製作の目的……全世界の輿論を動さんとする平和の提唱
該寫眞製作の幇助者 米國大統領ウヰルソン氏(熱誠なる讃助)
該寫眞製作の特志會社 米國トーマス、エイチ、インス會社
該寫眞製作の消費金額 百萬餘弗(貳百萬圓以上)
該寫眞製作の日數……二ケ年間
該寫眞製作の出演人員 四萬人
該寫眞製作の出演馬匹 六千頭
該寫眞製作の特別材料 戰鬪艦五隻(內三隻米國海軍所屬)逐洋艦一隻、水雷驅逐艇二隻、潜航艇三隻 實戰廿五分間內の繼續發射巨彈六百發 交戰中一艦は中空五百呎の高所に吹飛され四邊海波起伏の狀形容すべからず 陸戰檢討の爲め一市街を新設せり
該寫眞製作の旺な光景

ウヰルソン大統領よりインス社長に宛てたる信書の一節(拔萃)
世界各國は相共同して平和の聯合保證をなし若し世界生活を攪亂を來すべき事件の發生したる時は先づ世界公論に訴へて此が處決を謀らざる可らず、而して合衆國は該共同保證に加入し其全力と威化とを以て此に努力せざる可らず。現下の戰爭が其終局に逆するの時、其平和を調停し、保證するの途決して他あるなし。

◉本寫眞は本年二月大統領官邸ホワイトハウスに於て全州知事及び陸海軍其他高官を招集し觀覽に供し後市場に賣出されたり

◎日本興行權 日本活動寫眞株式會社保有

公開日割
▲六月廿日 水曜日
▲六月廿一日 木曜日
▲六月廿二日 金曜日
▲六月廿三日 土曜日
▲六月廿四日 日曜日

觀覽料
▲壹等席 金六拾錢
▲貳等席 金四拾錢
▲參等席 金貳拾錢
軍人學生各等半額
割引券一切發行せず

◎土曜日、日曜日は特に正午十二時より晝夜二回開演

日活代理店 大正館 電話八七三

◎大正館の名譽大寫眞◎

……を回復し、果も亦た同樣の……五分三厘の增收なり、今柿及び栗梅……歉なきにあらざりしも氣候適順なり……歉並に收穫高累年對照表を示せば左……じと結實年齡に達せる樹數增加せしの如し

牛疫發生數

咸北道……は牛疫……源地なる間島地方と接壤す……上病毒の侵入を免れざる……の關係……を施したる頭數は六千五百……頭に及び之に要したる血清注射數は……六千四十五に達せり（淸津）

……するものあり紳商等は群起して之に反對し支那人の自營となすべき旨を主張した結果日支兩國人間に激烈……少古易に心得あるより咸平郡……九山里鄭姓女（五）を伴ひ五月九日羅州羅陽等を迂論付き同月十六日頭昌……宗根の妻をも此の手で欺き金……すれば惡運立所に霧散すべしと稱して衣類と金とを持行き居合せたる……行く所なれば汽車に乘り行かんと……城驛迄引張り出し同女のみ乘せて自……るに附込み自分の家は汽車に乘りて……

李王殿下の御演說

寺內首相官邸晚餐會席上にて

李王殿下は禁闕奧深きに御誕生相成り昌德宮の王位に即かれし前後より今日に至る迄如何なる公會の席上にも未だ曾て御演說等の事ありしを聞かず然るに十七日永田町寺內首相の官邸に成らせられ首相主催の晚餐會に臨席あり主催主人寺內伯より恭しく今回の御上京を祝し奉りたる後當夜御臨臨の榮を辱ふしたるを感謝したる後殿下の爲め健康奉祝の盃を擧げたるに殿下には深く御滿悅に思召され直ちに御起立の上嚴なる御口調にて朝鮮語にて左の御演說を試みられたり

今夕は寺內總理大臣の御鄭重なる御招きに預り異に感謝に堪へず今回東上し始めて帝都に入り上は帝室の優渥なる御待遇より下は各方面市民等の熱誠なる歡迎に遭ひ余は深く之を光榮とす旅行中に於ける愉快は到底言語を以て盡す能はざる處なり茲に陛下の爲め祝盃を擧げ更に寺內首相の爲め祝盃を擧ぐ可し

と一同と共に乾盃せられたり之れ殿下始めての盛擧なりとて長く奉侍せる尹澤榮侯閔長官李敬暻子爵は感泣を催して欣喜せりと（東京特電）

遺失物の一番多い季節

◇本町通り＝南大門驛構內＝電車◇

……是れから暑さが酷しくなると人の心に……締りがなくなる故でもあるまいが……

春から夏へといふ更衣の季節には毎年遺失物が多い、頃日のやうに急に暑氣が加はると人の心に迄締りがなくなる故でもあるまいが

▽**金や品物を** 遺失して警察署や憲兵隊に屆出る向きがなかなか多い、又拾得して屆出る人も少くない、京城で通行者の最も多い本町警察署の管內で本年一月から四月迄取扱つた遺失物を調べて見ると落して屆出たものが五百三十件、拾つて屆出たものが七百八十五件あつた夫れで一箇月の平均から見て遺失が百三十五件、拾得が百九十六件となる譯である、而して

▽**遺失拾得を** 合せて一日平均十一件宛となる、右の四箇月間は年間でも一番遺失物の少い頃で五月以降になると急に殖ねて來る、四月から五月へ掛けては先づ衣更への時候であるから輕裝して外出や散步し又は遠方へ旅行するやうな人が多くなる爲め、思はず携帶中の財布や時計などを遺失することがある、京城では本町一丁目から三丁目の間が最も遺失物が多い、是は賑やかな

▽**雜閙の巷で** あると共に先づ買物と言へば此のあたりが本場のやうに見られてゐるので、店頭、土間、路上等に今買つたばかりの品物を財布諸共に遺失する人も尠くない、又南大門驛の構內と京城電車中でも物の置き忘れが隨分ある、どちらも每月百件以上あるとのことである、次は南大門通りと新町とである新町のは大抵嫖客のもので中にはなかなか

▽**振つた物も** あるさうな

遺失拾得共先づ多いのは現金入りの財布である、中には數十圓から百圓以上這入つてゐるのもある、財布も切れ類のものよりも革製品が多い、次は懷中時計其他指輪、簪、櫛などの女の持用の貴金屬類である、其他其の時季の携帶品である扇子、ハンカチーフ、洋杖、帽子、洋傘、水筒のやうなものが昨今多い、而して每年五月から十月迄と

▽**押し詰つた** 十二月とが遺失物が多いさうで、五月から十月迄は所謂活動期間で通行人や外出者が多い爲であらう、遺失した際は直ぐ警察に屆けて置くと其の內に大抵判るが、數年前迄は物を遺失しても容易に自分の手に戾らなかつたが近年は拾得者の方で之れを握り潰すやうな不德の者が減少し正直に屆出るやうになつたさうだ、其れで自己の所有物には

▽**何でも署名** して置く必要があり署名してあると遺失品の判り方も早く係員の取扱ひにも大に便利である、尙拾得物の中には荷車や自轉車のやうな大形の物もあるさうで、是等は大抵置き忘れ物か時には盜んだ泥棒が處置に窮して放置したものもあるさうだ

□御贈答品

兩陛下より李王殿下並に同妃殿下へ

李王殿下並に同妃殿下、李太王殿下より過日聖上皇后兩陛下並に皇太子殿下に既報の獻上品ありたるに就き兩陛下には御答禮の思召にて十九日左の如く御下賜の御沙汰あらせられたり（東京特電）

蒔繪違ひ棚　一箇
御紋章附銀製花瓶　一對
右李王殿下へ
刺繡屏風（草花模樣）　半雙
右李王妃殿下へ
刺繡屏風（富士山）　半雙
右李太王殿下へ

水のほとり――李王家植物苑にて――

◉運海丸沈沒

印度洋に於て

門司中村精七氏の特有船として傭船せる第七運海丸は二三日前印度洋に於て沈沒せりとの報十九日三井物產支店に入電ありたり（大阪特電）

◉大相撲興行と 京城前景氣

太刀名殘相撲

東京大相撲太刀山伊勢の濱一行は二十日より二日間大邱興行後金泉大田群山を打ち二十七日午後京城乘込み同日太鼓を廻し二十八日初日を出し五日間例年通り明治町東拓橫の空地に於いて興行する筈なるが

▲**其の準備** 打合せのため協會檢查員熊ケ谷、猪谷太刀山組合理事の二氏は先發として入京せるが二十日より愈々場所の組立に掛るべく小舍の面積は十八間四方にして今回は釜山と同樣天井を特に天幕張りとなすべければ場內頗る明るく

▲**觀覽に便** なり、而して木戶は大人三十錢小人二十錢にして棧敷は正面五圓（四人詰）三圓（同上）四圓にして[illegible]廿年近く斯界にありて土俵の花と謳はれたる太刀山が愈々明年夏場所限り引退すべき名殘角力なれば釜山に於ける人氣は實に素晴しきものなりしが京城にても好角家非常に多き事とて開場となれば定めし好景氣を呈する事となるべし

◉水攻めの大連

一荷十錢位にて買はる

大連に於ては昨年以來降雨乏しき爲め水道の水涸渴して飮用水にすら缺乏を來し當局は苦心の結果一方には新水源地を搜索すると共に他方に於ては給水時間の制限を爲し市內を二區に分ちて午後一區

▲**各々二時間宛** 給水をなし居れるが而かも尙且つ其の全二時間內に水の迸出する時間は一時間に過ぎぬ處あり或は殆んど水の出ざる處もあり且つ市民中水道を所有するものは極めて少部分にして市民の大部分は全然買水にて事を足し居るものなるが此等は支那苦力が僅々二時間の給水時間內に汲取り擔ひ步きて東西南北へ配布するものに付き其の多忙なること殆んど戰時狀態と選ばず而も到底各戶へ配布すること能はざるより普通一荷二錢の給水規程を買手の方より

▲**糶り上げて** 一荷五錢六錢甚しきは十錢以上を支出せんとするも遂に一荷の水を得ず米を抱きて之を煮ること能はざる家もあり本月十日より折角降雨ありたれども市中のみ雨量多くして水源地には殆んど降らず全く龍王に見離されたるものと見ゆ此分にては當分尙ほ給水時期の延長を見ること能はざるべしと（大連）

◉蟲の好い無心狀

李王殿下と長谷川總督に

忠淸北道鎭川郡郡中面若谷里に住み飮食行商をなし居りし李子發と呼ぶものあり、同人は妻との中に四人の子を擧げしが不幸にも昨年妻に死別れて以來未だ二つの乳吞兒あるため生計の行商もならず殆んど糊口の途さへ立たざるに到りたれば一計を案じ去る頃李王、李太王兩殿下並に長谷川總督に向つて各一通の請願書を認め之を鎭川郡より發送したるが其不心得を諭して引下らしめたりとのことなるが其文意に曰く

父は幼少の頃に死し母は明治十五年頃死亡し現在兄李丙發は同村にあるも作來の時に渉て妻を娶ること能はず本人（李子發）は何等の所有財產なきため飮行商を營みて生活し來りたるが昨年十一歲の長女と八歲と五歲の男兒に二歲の乳吞兒を殘して妻長逝したるより飮行商もならず日下糊口に窮しあり嗚呼天下かくの如き不幸ありや依つて今回李太王殿下より金一千圓李王殿下より金一千圓長谷川總督より金二千圓の拜借方請願し度く返濟は李太王李王殿下には五箇年後に返濟し長谷川總督には每年二百圓づゝ十箇年に返濟すべく返濟中は御聽屆け願たし。天に昇し地に伏すれど天之れを知らず、就いては右金の內二千圓を以て田を買ひ求め兄丙發に農作營まし二千圓を以て商業に從事したし（淸州）

◉夫を厭つて墮落

大分縣大分郡鶴崎町安部時太郎三女なみ（三）は先年同縣北海部郡佐志生村理髮業三島守人（三）に嫁ぎたるもなみは嘗つて橫濱のシンガーミシン學校を卒業し臼田町幼稚園の保姆を勤め虛榮心強く夫婦の仲は兎角風波の絕間なかりしが本年三月頃よりなみは北海部郡佐賀の關姬野高之助（三）と不義をなし同名は五月中旬鄕里を拔け出し別府下關に數日間遊び暮して今月初め釜山牧の島東部久保野勘次郞方へ流れ込みたるになみは早くも情夫高之助を嫌ひて離別し他へ高飛びせんとする處をなみの實家より釜山署に同人の取押方を依賴し來れりと

◉お好角力と銀盃

大邱支局の懸賞

東京大角力太刀山伊勢ケ濱一行は釜山を打ち上げ十九日夜大邱に乘り込み二十、二十一兩日間同地に於て興行すべく依つて本社大邱支局にてはお好み角力懸賞として大銀盃を贈呈することゝ爲したるが尙副賞として三中井吳服店支店、龜屋支店、櫻井進堂より物品を贈呈すべしと（大邱特電）

◉手の長い居候

京城櫻井町一丁目古物商村山某方に五月初めより寄食中なる小出正（三）は六月九日主家の自轉車一輛を大聞に入質し其の質札の文字を變造して代金を詐魔化し其他同家より現金三圓八十錢衣類雜品等を竊取し本町四丁目西頭某方よりも自轉車一臺を竊取して遊興消費したること發覺して鍾路署に檢擧さる

◉**拔取仲仕起訴** 去月廿二日の本紙に大道にて白米の拔取りと題し揭載したる釜山南濱町難波支店の店員十中の處賀恭（三）及び共同組仲仕佐伯如藏（三）に係る竊盜事件は釜山警察署より釜山地方法院檢事局に移され審理中の處賀恭は犯罪成立せず不起訴となりしも如藏は營業規則違犯の爲め遂に起訴せられたり

えんげい

◉**池坊生花大會** 二十日二十一日兩日……本願寺に於て當地正友會員主催の下に池坊生花大會を催し代理として京城六角堂華道家元……代理教授……出張し二十日午後一時より華道に關する講話ある由

◉**ますや吳服店の提供** 本町一丁目ますや吳服店にては二十日より一週間金五圓以上の買上げの方に對しショウヰンドーに陳列せる反物の中御希望品を一反價五十……にて提供する由

◉**天一乘込み** 來る二十二三日頃より黃金館に於て奇術を開演すべき松旭齋天一の一行四十餘名は二十日朝鮮に乘込み準備の上大々的に開演すべしと

◉**『文明』** 大正館にては二十日より特別大興行として二十日より全部新寫眞と差替へたるがその重なるものは同館が大々的に廣告したる大獨逸軍國主義が生んだ兒樂なる米利加の『文明』と大米利加の『シビリゼーション』十卷と言へる大作れる『シビリゼーション』十卷と言へる大傑作にしてその撮影方法、目的に於いて理想的大寫眞にして流石に亞米利加式と思はるゝ大仕掛の所あり大喝采を博するに至るべし▲實寫教育資料鷄卵の孵化▲滑稽活劇『デブ君さぶ嬢』全三卷▲戰爭か平和か『シビリゼーション』全十卷

◉**藝術座平壤へ** 島村抱月氏松井須磨子一行の藝術座劇は十九日を以て大成功の裡に京城を打ち揚げたるが一行は二十日午後九時四十分南大門發の列車にて平壤に乘込み同地にて打揚げ更に引返して南の方面に向ふ由

◉**師匠淨瑠璃二日目** 壽館に於て開催中の師匠淨瑠璃第二日目（二十一日）は竹本彌島太夫の爲めに龍糸連、三日目は同人の爲めに蛾松會、若登會六劇の總聽ある由二日目の語り物次の如し

▲御所櫻三段目竹本彌島太夫（糸奈良梅）▲朝顏宿屋竹本南太夫（糸龍糸）▲花川戶お梅竹本奈良梅（糸栴若）▲花川戶長兵衞內竹本若登太夫（糸小庄）▲本藏下屋敷竹本組ム夫（糸栴若）▲大切お俊傳兵衞堀川猿廻しお俊南次夫（大夫）おつる奈良梅傳兵衞彌島太夫與次郞組大夫母（若登太夫）糸與次郞龍糸ツレ栴若

▼六月廿日より
六月三十日迄

景品種目
……一等より九等まで……
丸帶、御召、名仙、上布
絹羽織地、縮袖下紋付地
帶側、男帶、其他澤山
……一本も空籤なし……

——附——品——景——
浴衣地大賣出し
御買上高壹圓每景品券壹枚進呈

京城本町
山口吳服店
電話長三九六番

新柄澤山著荷
▼粹な浴衣地の

浮石鹼製造卸 專門
◎品質本位◎價格低廉◎出荷迅速
◎御望みに依り店印入其他御相談に應ず可候
但し地方の御得意樣に限り申込次第見本送呈
京城府漢江通七番地
振替京城一二九〇五番
㊉ 大和石鹼製造所

小兒服附屬品專門
京城旭町一丁目 電取六三七九番
Ⓚ コドモヤ洋裝店

健胃消化
どんな頑固な胃病にもステキによく効く
ゴルフ
定價 貳拾錢 四拾錢 壹圓
つゞけて服用せば根本から胃を丈夫にし生々した血色となる
ゴルフは「タカヂアスターゼ」を主劑とせる胃腸藥にして胃腸病一切の外、消化健胃の人にも卓効あり
東京 泰昌製藥株式會社 室町

岐阜行燈
壹圓貳拾八錢以上各種
岐阜提灯
金十三錢以上金六拾參錢迄各種
其外變形提灯
種々取揃居候
書籍紙用品綿紙絖類各種萬年筆販賣皮修繕
京城永樂町二丁目
電一七四〇振京一〇八
堀崎商店

簾 種々品揃 特價提供
洋傘、帽子、メリヤスシヤツ、ステツキ、洋服附屬品、袋物
洋鞄、旅行具一切、佛檀、佛具
漆器物、簞笥、鏡臺、唐木細工
床置物、金物類、荒物、保母車
其他日用御家庭用品、一式
京城本町壹丁目
電話六九五番
振替京城一〇八三番
㊉ 平田商店

尾張時計會社製
最上蠅捕器
特價金參圓也

資本金壹百萬圓
不動產抵當ニテ長期低利ノ貸出致候
京城 株式會社 漢湖農工銀行
支配人 遠山熙
支店所在地 開城、春川、大田、江景、公州、淸州、忠州、論山、鐵原、鳥致院
普通銀行業務は確實親切に御取扱可申候

醇良無雙淸酒
無害衛生
品質無雙
豐錦商標
有薰
釀造元 福岡縣島城町
首藤合名會社
發賣元 京城府黃金町二丁目
首藤京城支店 電話長一一七一番
首藤釜山支店 釜山港幸町 電話長三四三番

花筐（三一）

松田竹の島人作

お島は主家の爲めに、眞からの忠實で、そして花枝に對しては、主人の子といふよりも、寧ろ肉身の姪が子のやうな心持で、眞底からあらん限りの情愛を注いで、大切に育てゝゐた。

小間使のお豊は、お島が忠實なのに反して、平素京子から氣に入られてゐたのを鼻にかけて、氣隨氣儘ばかり爲る上に、誰れ彼れの差別もなく、京子に告げ口を爲て、自分一人で市野家を切つて廻はさうと爲た。だからお島とは兎角折合が惡るく、二た言目には直ぐとお島の氣に障はるやうなことを言つた。今も其通りでお島が京子の家出したことを、花枝に隱蔽してゐて、京子に關することは、一切其耳に入れぬやうに爲てゐるのを、お豊は依怙地に爲つて、京子のことを花枝に聞かせやうと爲るのであつた。

お島は怫然として、

『お豊さん、どしやうですから、彼方へ往つて下さい。』と遠ざけやうとすると、意地の惡るいお豊だから、去らうとする擧動もなく、

『彼方へ往かうと往くまいと、妾の勝手ですよ。』

『だつてお豊さんが、御孃樣の前で餘計なことを言ひなさるからさ。』

『何にが餘計なことなんです。御孃樣が奥樣を御慕ひ遊ばすから、鎌倉の御別莊に、奥樣が居らつしやらないことを、ありの儘に申上げた方が可いと思ふから言ふんですよ。』

『それが餘計なことぢやありませんか、御孃樣のことは、何にもかも妾が御引受してゐるんですから、奥樣のことを申上げて可ければ、お豊さんから申上げて貰はなくつても、妾が直接に申上げますよ。』

『乳母さんは仙代萩の政岡そつち退けに、忠義で御在なさるからねえ。』とお豊は厭味に當てこすりを言ふて昂然とする。

お島は、お豊のいふことが憎らしく、其顔を掻き挘つて遣りたい程に思つた。

『妾は何にも、忠義振つて然う言ふのぢやありませんよ。奥樣のことは少しも御孃樣へ御聞かせてくれるなと旦那樣の御申付だもんですからね。』

『何んかに就け、乳母さんは直ぐ旦那樣を御引合ひに出すんですね。妾は奥樣の御供で、御別莊に往つてる時だつて、奥樣が御孃樣のことを御心配遊ばすと、御孃樣には乳母さんが御附き申して居りますから、御心配遊ばさなくつても大丈夫でございますと、毎も程よく申上げてゐた位だのに、乳母さんは其麼ことも何んとも思はないで、二た言目には、妾を意地めるやうなことを言つて、乳母さんは妾に何にか遺恨でもあるんですか？』

お豊は、自分の依怙地で執拗なことは棚に上げて、横紙を裂くやうな無理を言つて、喰つてかかるのであつた。

お島は、相手に爲つてゐれば居るだけ、腹が立つと思つたから、花枝の方を向くと、

『御孃樣御庭へ出て遊びませう』と慫めて、逃げにかゝつた。

お豊は、これが又癪に障つてならず、一層意地に爲つて、

『お孃樣が、折角バナヽを召上つてゐらつしやるのに、御庭に往からなんて、乳母は眞個に酷うございますね』と花枝とお島の間を阻隔するやうなことを言つた。

お島は、最う什麼にも怺うにも堪らなくなつて、紅葉のやうな可愛らしい手で、バナヽを持つて喰べてゐた花枝を、突ツと抱き上げると、庭下駄を穿いて庭へ出た。

偶、他出してゐた市野誠信が歸つて、未だ夏外套も脱がず、パナマ帽を冠つた儘で、縁を通つて來た。

山羊乳 御用達 官廳 京城獨立門東側 山羊牧場 電話一七七二番

花莚 各種 柿遊 卸小賣 京城龍山漢江通八 金川商會 電話六四八番

雨の日の室内遊戲

梅雨期は長いものです。霽れてゐる時は兎も角降る日には子供は室内で遊ぶより外に致し方がない。面白い室内遊戲を一ツ二ツ……

▲地圖遊び 例へば古い日本地圖の裏にボール紙を貼り乾かして後に線に隨つて國々を切り放します而して取交せて再び元の地圖のやうに並べるのです斯うする中に何時となく日本の地理を覺えます進んでは東洋から全世界地圖迄を切抜くやうにしたら面白い且つ餘程教育上の効果があります尚ほ二人若くは三人四人の者が一定の時間内に搭並べる競爭をするのも遊びとしては無害でせう

▲ヂヤンケン の仕方には種々ありますが主に三遍續けて勝つのを目的とします併し單に之丈では餘り有益ではないかと思はれます子供殊に尋常一年から二年位の生徒には十度何處が早く勝つか或は二十度三十度四十度と數を多くして勝つ事丁度球突の數のやうに取計らへば一層興味もあり加へ算のみならず差引する故引算も能く覺ゑるでせう子供一人ならばお母さんとかお兄い樣が相手になるもよし二人ならば親達が審判官になるのも宜しい

回春園俳句會句集

（題）暑

○陽炎へて木の葉凋るゝ暑さかな　東山

○心頭滅却を學む暑さかな　船城

耳を洗ひ口を洗ひ暑を洗ふ小川　魚骨

磯盤上暑さ知らぬに似たり大雄峯　静軒

○杜深く雉子忘れ啼く暑さかな
○人寄れば蠅來る山の亭暑し
○暑き日や冷きものの口に過ぐ
○劇評に終る俳堂の蒸し暑し　雄川

○水枯れて喘ぐ礒の暑さ哉
○暑さ來らず杜の家の草に風あり
○杜の家人ありて暑さ少し哉　黄丘

○御影石の暑さ廻に出る額の太さ
○暑い埃を急いで來た座敷の青蓆
○引越荷物がまた夏羽織も來る暑さ
○降りの瓦屋根が憎い程暑い
○電車が暑つくるしい汚いハンケチ
○挿芽がみんな暑さに敗けた朝寢
○蒸氣ローラーが吹きでるペン尖の暑さ　鳥兎

○大暑こゝに馬の博士の氣焔哉
○ものにソと母に語りし薄暑哉
○暑さを避けてビールに吐きし氣焔哉　袋人

○官服のぎごちなく座る暑さ哉
○惡詩惡句座に見る暑さ哉
○戰報の來る遲きを暑に待てり
○主賓來らず俳座人多き暑さ
○暑頓に加はりて籐椅子に彌る　草天

○西窓一つ深長忙しき暑さかな
○埃浴びて暑き午を街立ちつくす　崖城

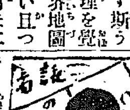
○鬼瓦見あぐる人もなき暑哉
○山ゆくも河ゆくも高麗の暑哉
○長官の在廳長き暑さかな　無佛

○浦然と一雨ほしき暑さ哉
○冷酒に氣焔のあがる暑さ哉　鳥堂

○暑さにあてられ氣焔ペン／＼草茂る
○身内の暑さ寢しなまでさめず　目池

○魚骨酒やめて劇を論ずる暑哉
○林間に居て落ぐ句餘りに出來る　長城

○午後一時日陰アスファルトを流る　丁
○雨雲の燒けて飛び散る暑さ哉
○宮殿に声伸び／＼て薄暑吹く　虎耳
○黄塵吹かる砂川の暑さ



▲當世俚諺に曰「冬は凍結夏には不足斷水せぬのは秋ばかり」何と諸君御同感でせう（守株痴兎生）▲過る夜の旭町二丁目火事の謝告には皆類燒許りで火元がない火元がなく類燒許りの火事は珍らしい事だ（憤慨生）▲此間野菜市場で巡査が腐れた果物類を鮮人に棄てさせて居つたが今頃内地から來た杏は殊に恐るべきもので全然毒藥を食ふやうなものだ腐れたものはどし／＼棄てるやうに取締るやうに望む（衞生係長）▲京城永樂町には狐を使つて神籤を引かせ料金を食つてゐる怪しの男が居る（狸使ひ）▲貴社主催の漢江觀火大會は時節柄面白い企てだ隨分賑はふことでせう殊に龍山では期待してゐる人が澤山だ（龍山生）▲昨今小兒の腸胃病や痲疹水痘などが流行り京城市中ではわづらつてゐる幼兒が澤山あるおや／＼の注意肝要（醫師）▲犬の豫防注射が始まつたもので奥さんらしい婦人が犬諸共に俥で市中を駆けさしてるのは餘り體裁がよくない（小使）

物品賣却廣告　一、葉煙草弐千參百四拾五貫五百匁　右賣却ス詳細ハ大正六年六月二十日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ　大正六年六月廿日　朝鮮總督府

京日案内　普通一回前金五十錢　番外一回前金一圓（但名一回に拾錢増し）▲申込後中途掲載中止の節は料金返戻せず ▲六回以上の御申込は返信料にて割引 ▲御照會の節は必ず數字の番號御記入を乞ふ

朝鮮特産 すだれ 御卸小賣　京城黄金町三丁目 取次電話二九四九　荒井珠簾製造元 寶店　168

寫眞レンズ四つ切用賣たし新古共　龍山驛前 獨立軒寫眞館　167

尺八、明笛 オルガン。バキオリン 販賣と修繕　京城本町ウツボヤ　124

看護婦募集（資格者及見習）希望者は履歴書携帯來談あれ　京城明治町二の三二 須古醫院　161

貸本格安譲る 數千册分讓差支なし　大邱市大山通 藤原文華堂 電話一一二七二番　145

貸オルガンあり　京城本町 電二五二七　山葉九號 ウツボヤ書店　149

醫師代診　看護婦並に見習入用 希望者は履歴書携帯來談あれ　姓名花京城日報仁川支局　155

無經驗者に出來る 好事業讓る　目下盛に賣れつゝある純益莫大有名なる賣藥製劑權歸國の爲急ぎ讓る　南大門通五ノ四 鈴木 電二五六七番　170

醫士代診看護婦及 見習看護婦各一名至急入用　黄金町二丁目 朝鮮診療病院 電話二八三七番　159

内科 小兒科　女醫 川崎朋子　京城明治町 電話一〇五四番　169

有給 外務員採用 三十歳以上 午前來談　京城明治町一丁目四六　東京國債 朝鮮支部　173

礦物定量分拆　朝鮮公論社 太平町二丁目 左横小路　坂元分析所 電二五四四　164

年金 恩給 低利 最即時立替　極秘證書確實保管　日商品陳列館表門前下角　京城永樂町一丁　江州屋本店 電話長三三四　166

恩給年金即時立替　西期無保險取扱確實也　京城南大門外舊御成町 京義線涉里院 短鮮支店　山口屋 廣川商店　84

恩給年金立替　即時取引退隱料一切千圓以上別契約　京城櫻井町（大正舘向）元祖　博多屋本店　104

多利　ゴム風船寶月サック卸商　小賣は三倍以上五倍利す　當店特色は薄利多賣定價表無料送　京城太平通二 電話二六〇六番　太陽ゴム商會　105

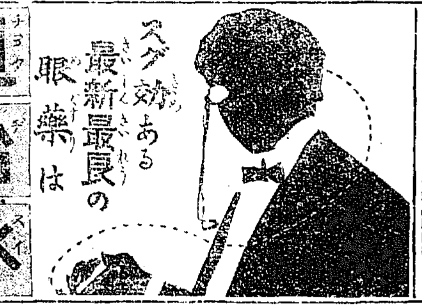
恩給年金立替　利子格安即時取引　短期無保險　電話二三九一番　京城若草町一一（金光教裏手）　國江商會　110

花柳病 外科 專門　梅毒 痳病 泌尿生殖器病 睾丸病 肛門病 皮膚病 婦人病 神經衰弱 ヒステリー　京城南大門通農工銀行裏　司生堂醫院

夏の日ヤケを完全に防いで
垢ぬけのした美しい素顔とする
ホーカー液
朝夕一滴づゝお用ひ下さい！
□美容効果□
色を白く、キメを細かにし
アレを防ぎ、色艶を好くし
夏の日ヤケを完全に防ぐ
白粉下、トキ水によく
子供衆の皮膚を丈夫にし
生れつき色が白い様に見せ
紳士の髭そり後に適す
定價 大瓶八十錢 中瓶四十錢 小瓶二十錢　送料 内地無料
全國到る處の小間物化粧品店、藥店に販賣す 若品切れの節は本舗宛直接御注文乞ふ
本舗 堀越嘉太郎商店　東京神田和泉町 電話神田特長一四四、長一四五 振替口座東京一五六

頭分けには 二葉ポマード
美髪用煉香油
棒チック水油を要せず思ふ様に調髪が出來ます
お髪上にも大變な評判！
發賣元 大阪南久寶寺町 角倉支店
小間物化粧品店にあり
定價17, 25, 25

スグ効ある最新最良の眼藥は 直治水
特長 ○最新高貴藥を配伍す ○裝瓶は嚴重に殺菌消毒す ○効驗は迅速偉大なり
主効 ○トラホーム ○はやりめ ○かすみめ ○やにめ ○うみめ ○くさめ ○其他眼病諸症に効あり
外の眼藥で効なき人試みよ
本舗 大阪 丹平商會藥房



衞生必携 サック
豫防は治療に勝る！
エミヤ販賣部

大口歡迎 寳　京城黄金町長橋町入 電話二九一六番　田村質店　商品擔保便利取扱

りん病 ばい毒
本藥は殺菌力強大にして些の副作用なく急性慢性痳病及び各期の梅毒性諸疾患に服用し最も安全迅速に其效の目的を達す
一周分 梅毒 痳病
京城永樂町二丁目交番北　東京ドラッグ商會

誰にもワカル健康の標準は
▲常に腹工合ヨク▲毎日食が進んで
▲通じヨク▲少し位の事て下痢腹痛を起さゞるにあり

前宮内省侍醫柏村博士創製
腸胃強壯藥ヘルプは
腸消化を助け衰弱缺損する腸胃の各作用を恢復する藥故平素小量宛を服用すれば腸胃は健全、身體強壯となる若し夫れ急性の
下痢腹痛ならば
本劑三四錠宛を用ゆれば數回にして効驗著しく恐るべき結果を免れ得べし

消化と殺菌の 下痢止腸胃藥

下痢の原因
が多く不消化と黴菌作用に起因するを知らば藥劑の撰定に又其注意を要す
●然るに從來の賣藥は單純の收斂劑にて消化と殺菌の用意ある物なし
●柏村博士のヘルプは此缺點を考慮配劑せし他に類なき殺菌性下痢止腸胃藥なれば一般下痢に應用して奏効迅速且安全也

ヘルプ効能
●食過●食傷●消化不良
●時候あたり●水あたり
●寢冷等より起る
▲下痢腹痛▲吐瀉
▲澁腹▲腸瓦斯を止め
▲腸加答兒
▲胃加答兒を治す

定價 貮拾錠 參拾錢　自行用ポケツト型 五拾錢　徳用 壹圓 貮圓五拾錢

製藥發賣元 東京日本橋本銀町 振替東京八六四番 津村敬天堂
●取次は全國到る所の藥店にあり

商況 大阪期米（十九日）

十九日の八月限